名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	キャリア教育（ Career education ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	兵頭　実
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	木曜　3限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道をみつけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。
※実務者経験：シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。

【到達目標】
1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる
2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. 自己の働く意義（勤労観・職業観）を説明できる
4. 目指す業界を理解し、その特徴を説明できる
5. 自己実現（夢をかなえる）のための目標設定をし実践できる

授業計画・内容	
1回目	集団（クラス）づくりの理解と実践　（集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う）
2回目	サポートアンケート実施。その他のインフォメーション　働く意義（勤労観・職業観）を理解し考える
3回目	学園祭を盛り上げるためにはどうすれば良いか？「集団での役割」の理解と実践
4回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5回目	「集団での役割」の理解と実践　＜学園祭準備活動＞
6回目	グループワーク：業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する
7回目	グループワーク：業界研究と自己の進路を考える　①
8回目	グループワーク：人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める
9回目	グループワーク：希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返りを行う
10回目	グループワーク：夢への一歩を踏み出す勇気を身につける
11回目	グループワーク：業界研究と自己の進路を考える　②
12回目	グループワーク：セルフマネジメント（自己理解）とチームマネジメント（協働作業）の振り返りを行う
13回目	グループワーク：振り返りとこれからの目標設定を行う
14回目	ミュージカル演習　リハーサル
15回目	ミュージカル演習　本番
準備学習時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生へのメッセージ	自分の強味を武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
筆記用具
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	キャリア教育（ Career education ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	兵頭 実
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	木曜 3限

【授業の学習内容】 （※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
本科目を更に充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ模擬オーディションを別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるためにイベント出演など校外学習を実施する。
※実務者経験：シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。

【到達目標】
1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる
2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. プロフィールシート作成ができるようになる

授業計画・内容	
1回目	自己理解 ① 働く意義（勤労観・職業観）を理解し考える
2回目	自己理解 ② 自己PR/プロフィールシート作成 ＜自己PR ・ 趣味特技＞
3回目	自己理解 ③ 自己PR/プロフィールシート作成 ＜専門分野 ・ 関心事＞
4回目	自己理解 ④ 自己PR/プロフィールシート作成 ＜志望動機 ・ 立志作文＞
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ③
8回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 ＋α」を学ぶ
9回目	社会人準備 ② 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 ＋α」を学ぶ
10回目	社会人準備 ③ マネー教育（収入と支出のバランスを学ぶ）
11回目	「集団での役割」の理解と実践 ① ＜WeareNSM準備活動＞ ・ 自己理解と進級発表の準備を行う ①
12回目	「集団での役割」の理解と実践 ② ＜WeareNSM準備活動＞ ・ 自己理解と進級発表の準備を行う ②
13回目	進級発表 リハーサル
14回目	進級発表 リハーサル
15回目	進級発表 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生へのメッセージ	自分の強味を武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
筆記用具
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ICT (Information and Communication Technology)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	三和 宗久
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	水曜1限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
情報へのアクセスが容易になった現在では、様々な端末で通信を行い生活する事が当たり前になってきました。社会に出るとパソコンを駆使して情報をまとめ、更にはプレゼンテーションする能力も求められます。この授業では、Microsoft Office Word, Microsoft Office PowerPointを使用し、基本的な操作を覚えることで、視覚的なフライヤーを作成していきます。また、プレゼンテーションの基礎を覚え、プレゼン資料を作成し、授業内で実際にプレゼンテーションを行います。
※実務者経験:専門学校にてWord,Excel,PowerPoint,ホームページ制作などのITに関係する授業を約15年行う。

【到達目標】
①インターネットの現状を学ぶことで、ITリテラシーを身につける。② Wordの基本操作を覚えることで、簡単な文書作成や図形、イラスト、写真などを使った視覚的な書類の作成(ポスター、フライヤーなど)ができる。③PowerPointの基本操作を覚え、スライド作成の手順を学ぶことで、見やすく説得力のあるスライドを作成し発表することができる。

授業計画・内容	
1回目	ITガイダンス　com portalアカウントを取得し、メールアドレスの設定が完了する。ITリテラシー理解度テストを受け、合格する。
2回目	Word1　基本的な操作を覚え、簡単な文書を作成することができる。
3回目	Word2　基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単な文書を作成することができる。
4回目	Word3　図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な文書の作成ができる。
5回目	Word4　図形、画像などを使い、視覚的な文書(フライヤー)の作成、印刷ができる。
6回目	PowerPoint1　基本的な操作を覚え、簡単なスライド作成ができる。
7回目	PowerPoint2　基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単なスライド作成ができる。
8回目	PowerPoint3　作成したスライドにアニメーションなどの動きを入れることができる。
9回目	PowerPoint4　作成したスライドに動画を入れることができる。
10回目	PowerPoint5－①　プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
11回目	PowerPoint5－②　プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
12回目	PowerPoint5－③　プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
13回目	PowerPoint5－④　プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
14回目	PowerPoint6－①　自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。
15回目	PowerPoint6－②　自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。

準備学習時間外学習	タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておくと、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやPowerPointなどの操作をしっかり習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。		
評価方法	定期試験50% 課題成果50%	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	Wordで課題として制作するフライヤーを課題成果として、評価を行う。PowerPointで課題として制作するスライド、実際に行うプレゼンテーションを定期試験として評価を行う。
受講生へのメッセージ	パソコンの基本的な操作を身につけ、最終的には自分で完成させたスライドでプレゼンテーションをしていきます。授業を通して、自分の思いを言葉にして伝えることの難しさや楽しさ、自分独自の表現を見つけていきましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】
テキスト:株式会社滋慶出版　COMPUTER　BACIC　WORD　2013・2016
その他:プリントを用意
データ保存用記憶媒体（USBフラッシュメモリ）

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ICT (Information and Communication Technology)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	三和 宗久
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	水曜1限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
社会に出ると、パソコンを使って様々な情報を管理していくことになります。特に「Microsoft」の文書作成ソフトWordと表計算ソフトExcelの基本操作は、仕事をする上では最低限求められるスキルで、どのような企業でも使われています。この授業ではMicrosoft Office Word, Excelを使い、ビジネスに必要な文書作成、表計算の基礎を覚え、基本的な文書作成や表計算ができるようにします。
※実務者経験：専門学校にて、Word, Excel, PowerPoint, ホームページ制作などのITに関係する授業を約15年行う。

【到達目標】
Word：基本操作を覚えることで、簡単で見栄えの良いビジネス文書の作成ができる。
Excel：基本操作や基本関数を覚えることで、計算式の入った表やグラフを作成できる。

授業計画・内容	
1回目	Word1-1　基本的な操作を覚え、ビジネス文書を作成できる。
2回目	Word1-2　基本的な操作を覚え、見栄えの良いビジネス文書を作成できる。
3回目	Word2-1　図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成できる。
4回目	Word2-2　図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成でき、印刷できる。
5回目	Word3-1　表を作成する操作を覚え、表のあるビジネス文書を作成できる。
6回目	Word3-2　表を作成する操作を覚え、表のある見栄えの良いビジネス文書を作成できる。
7回目	Word4　Wordで図形や画像の入った文書を作成することができる。（中間試験）
8回目	Excel1-1　基本的な表を作成することができる。（入力、罫線を引く）
9回目	Excel1-2　基本的な表を作成することができる。（入力、罫線を引く、数式）
10回目	Excel1-3　基本的な表を作成することができる。（入力、罫線を引く、数式、関数を使った計算）
11回目	Excel2-1　棒グラフの作成をすることができる。
12回目	Excel2-2　円グラフの作成をすることができる。
13回目	Excel2-3　複合グラフの作成をすることができ、表とグラフを印刷することができる。
14回目	Excel3　これまで習得した範囲の練習問題を解くことができる。
15回目	Excel4　Excelで表とグラフを作成することができる。（期末試験）
準備学習時間外学習	タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておくと、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやExcelなどの操作をしっかり習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。
評価方法	中間試験と期末試験80% タイピング・課題成果20% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 Word、Excelは中間試験、期末試験で評価を行う。
受講生へのメッセージ	IT後期の授業では、ビジネス文書の作成など実際に社会に出たときに活用できる機能をたくさん学んでいきます。 前期でやった内容をよく理解して、後期の内容に進んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
テキスト：株式会社滋慶出版　COMPUTER　BACIC　WORD　2013・2016
その他：プリントを用意
データ保存用記憶媒体（USBフラッシュメモリ）

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルB+

教科書	EVOLVE 4
学習到達目標	最も身近な分野（個人情報や家族、買い物等）に関する頻度の高い表現を理解し、文章を書くことができる。単純なトピックについて自分の意見を述べることが出来るようになる。母語話者とは一般的なディスカッションや会話の交渉できる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッスン	**学習内容 （対面）**
Unit 1 成果、業績	個人の業績について話す、また人を紹介された時の受け答えができる。 ブロック投稿についてのコメントを読む、また書くことができる。	1	1.1	業績に関する表現を学ぶ 「単純時制」「進行時制」を学ぶ、復習する	1	1.1	単純時制や進行時制を使って、 個人の業績について話す
		2	1.2	資質などを表す表現について、 形容詞・名詞での表現を学ぶ 動作動詞・状態動詞の違いを学ぶ	2	1.2	雇用者が求める人材について話す、 個人や他人の業績を説明する
		3	1.3	yの発音を学ぶ 人を紹介する時の表現、また人を紹介された時の受け答えの表現を学ぶ	3	1.3	自己紹介、他己紹介をする場面での会話を練習する
		4	1.4	賛成・反対・より多くの情報を求める際の表現を学ぶ	4	1.4	ブログの投稿を読む、投稿にコメントを書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「面接のロールプレイ」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 流行の食べ物	食べ物の流行について、また料理の準備（調理）について話すことができる。 社交の場で申し出をする、またそれを受けることができる。 調査についての結果を読む、また報告書を書くことができる。	5	2.1	流行に関する表現を学ぶ 条件節（If節）について学ぶ	6	2.1	流行に関する表現を使って、 トレンドについて話す
		6	2.2	食材や調理法についての表現を学ぶ 接続詞（after,until,whenなど）を用いた表現を学ぶ	7	2.2	接続詞を使って、料理の手順について話す
		7	2.3	/al/,/i/,/el/の発音を学ぶ 提案をする、また提案を受ける・断る際の表現を学ぶ 提案を相手が受け入れた際の受領の表現を学ぶ	8	2.3	提案をする際の表現を使って、 社交の場や料理を注文する場面での会話を練習する
		8	2.4	消失する/t/の発音について学ぶ 調査報告に用いられる表現を学ぶ	9	2.4	調査についての結果を読む、また報告書を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「レストランの改善策を計画する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 お金と時間	時間とお金の相対的な重要性について話すことができる。 謝罪をする、また謝罪を受けることができる。 商品のレビューを読む、また書くことができる。	9	3.1	時間とお金に関連する表現を学ぶ [too, enough] について学ぶ	11	3.1	[too/enough]を使い、物事の「程度」について話す 時間とお金の相対的な重要性について話す
		10	3.2	価格と価値に関連する表現を学ぶ 形容詞の比較級について学ぶ、復習する	12	3.2	比較級の表現を使って、物事の価値や 価値を判断する基準について話す
		11	3.3	/s/で始まる語の発音を学ぶ 謝罪をする、謝罪を受ける際の表現を学ぶ	13	3.3	謝罪が必要な場面での会話を練習する
		12	3.4	商品レビューに関するポジティブ、ネガティブな表現を学ぶ	14	3.4	商品のレビューを読む、書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「批判的な商品レビューへの対応についてディスカッション」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 広告と注目されるストーリー	ネット等で注目されているストーリーについて話すことができる。 意見を交換し、ディスカッションができる。 ローカルビジネスについての記事に対する反応を読む、また書くことができる。	16	4.1	広告に関する表現を学ぶ [might, must, can't]（推測）の使い方を学ぶ	16	4.1	推測の表現を用いて、 絵や写真の描写をする
		17	4.2	メディア関連の人を表す表現を学ぶ 関係代名詞の主格、目的格について学ぶ	17	4.2	関係代名詞を使って、 ネット等で注目されている人、ストーリーについて話す
		18	4.3	/ɔ/,/ɑ/の発音について学ぶ 意見交換・ディスカッションする際の表現を学ぶ allを用いた強調表現を学ぶ	18	4.3	[all]を使い、強調したい内容を述べる練習をする 意見を交換し、ディスカッションをする
		19	4.4	[because,so]を用いて理由や結果を述べる表現を学ぶ	19	4.4	ローカルビジネスについての記事に対する反応を読む、書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「広告をデザインする」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 本当の出来事	様々な種類のストーリーについて話すことができる。 過去の計画について、またその変更について話すことができる。 会社の（公式の）謝罪についての記事を読む、謝罪の手紙を書くことができる。	20	5.1	ストーリーの種類を表す表現を学ぶ [had/would]（過去完了形）の使い方を学ぶ	21	5.1	過去完了を使って、 様々な種類のストーリーについて話す
		21	5.2	計画を立てる・破る際の表現を学ぶ [was/were going to, was/were supposed to]の使い方を学ぶ	22	5.2	[was/were going to, was/were supposed to]を使って、計画の変更について話す
		22	5.3	語末の子音の発音について学ぶ 問題への対応、解決策の提示・受領の表現を学ぶ 失望を表す表現を学ぶ	23	5.3	失望を表す表現を使って、 残念なニュースへのリアクションをする
		23	5.4	謝罪の気持ちを表す様々な表現を学ぶ	24	5.4	会社の（公式の）謝罪についての記事を読む、 謝罪の手紙を書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「偶然の出会いについてのストーリー」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 コミュニティ活動	チャリティやボランティア活動について話すことができる。 助けを求める、また断ることができる。 コミュニティ計画についてのレポートを読む、また書くことができる。	24	6.1	善い行いに関する表現を学ぶ 「受動態（現在形、過去形）」を学ぶ、復習する	26	6.1	チャリティやボランティア活動について話す
		25	6.2	良い行いを表す動詞・名詞・形容詞の形を学ぶ 「受動態助詞][must, might, can, will]の使い方を学ぶ	27	6.2	近所の人の親切な行為について話す
		26	6.3	/b/,/v/の発音について学ぶ 助けを求める、また断る際の表現を学ぶ	28	6.3	様々な助けが必要な場面での会話を練習する
		27	6.4	語中の/j/の発音について学ぶ レポートの中での意見を述べる表現を学ぶ	29	6.4	コミュニティ計画についてのレポートを読む、書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルB+

教科書	EVOLVE 4
学習到達目標	最も身近な分野（個人情報や家族、買い物等）に関する頻度の高い表現を理解し、文章を書くことができる。単純なトピックについて自分の意見を述べることが出来るようになる。母語話者とは一般的なディスカッションや会話の交渉できる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッスン	**学習内容 （対面）**
Unit 7 コミュニケーション	話す・書くコミュニケーションについてディスカッションをする。 会話やニュース、記事について詳しく話すことができる。 フォーマル/インフォーマルな手紙を読む、また書くことができる。	1	7.1	コミュニケーションに関する表現を学ぶ 「間接話法」について学ぶ	1	7.1	メッセージアプリの重要性について話す
		2	7.2	オンラインでのコミュニケーションに関する表現を学ぶ 疑問文の間接話法について学ぶ	2	7.2	話す・書くコミュニケーションについて ディスカッションをする
		3	7.3	語末の/s/,/z/の発音を学ぶ 話（ストーリー）を語る際の表現を学ぶ	3	7.3	会話やニュース、記事について詳しく話す
		4	7.4	Eメール中でのフォーマル／インフォーマルな表現を学ぶ	4	7.4	フォーマル／インフォーマルなEメールを書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「コミュニケーションに関する調査」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 ライフスタイル	異なるワークライフについて話すことができる。 最終決定までの選択肢について話すことができる。 ポッドキャストのコメントを読む、また反応を書くことができる。	5	8.1	様々な仕事を表す表現を学ぶ 仮定法（現在）について学ぶ	6	8.1	仮定法の表現を使って、 異なるライフスタイルについて話す
		6	8.2	ワーク・ライフバランスに関する表現を学ぶ I wish（仮定法）について学ぶ	7	8.2	I wishを用いて願望や後悔について話す
		7	8.3	母音/3/,/u/の発音を学ぶ 選択を迫られた時の表現、その際の提案や警告に関する表現を学ぶ	8	8.3	様々な選択肢がある状況での会話を練習する
		8	8.4	文中の強調表現（発音）について学ぶ 他人の文言や意見を参照する際の表現を学ぶ	9	8.4	ポッドキャストのコメントを読む、また反応を書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「デジタル・デトックスの計画を立てる」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 ルールと制限	ルールと制限について話すことができる。 一般的な基準を定めることができる。 ビジネスにおける批判を読む、また書くことができる。	9	9.1	様々な場所を表す表現を学ぶ 禁止・許可・義務（現在）を表す表現を学ぶ	11	9.1	禁止・許可などの表現を使って、 日常のルールや制限について話す
		10	9.2	ルールに関する表現を学ぶ 禁止・許可・義務（過去）を表す表現を学ぶ	12	9.2	禁止・許可などの表現を使って、 過去にあったルールや制限について話す
		11	9.3	語頭の/d/の発音を学ぶ 一般的な基準を定める際に使う表現を学ぶ	13	9.3	社会ルール／文化の比較についてディスカッションをする
		12	9.4	批判を読む・書く際の表現を学ぶ 態度を示す副詞について学ぶ	14	9.4	ビジネスにおける批判を読む、書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の改善点について」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 発見と発明	過去の出来事について思索することができる。 代用品と可能性について話すことができる。 なくては生きていけないもの、生きていけるものについてのコメントを読む、また書くことができる。	16	10.1	発見や研究に関する表現を学ぶ 仮定法（過去）について学ぶ	16	10.1	過去の出来事について思索し、話す
		17	10.2	正しいこと／間違っていることに関する表現を学ぶ [should have, could have, might have]を用いた過去の可能性の表現を学ぶ	17	10.2	可能性の表現を用いて、代用品と可能性について話す
		18	10.3	母音の発音（長短）について学ぶ 相手の関心を惹く際、関心を示す際の表現を学ぶ	18	10.3	話し相手の関心を維持しながらディスカッションをする
		19	10.4	文中での強弱（発音）を学ぶ 同様のもの、対照的なものを表す表現を学ぶ	19	10.4	なくては生きていけないもの、生きていけるものについてのコメントを読む、書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町での楽しい週末を計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 対照的なもの	科学的な事実について話すことができる。 代わりになるものについてディスカッションし、提案をすることができる。 テクノロジーの進化についての意見を読み、反応を書くことができる。	20	11.1	大学教育に関する表現を学ぶ [forget, remember, stop]の後のto不定詞、動名詞について学ぶ	21	11.1	to不定詞、動名詞の表現を使って、 大学の生活について話す
		21	11.2	科学に関する表現を学ぶ 使役動詞[help, let, make]の使い方を学ぶ	22	11.2	科学的な事実についてディスカッションをする
		22	11.3	音節のストレス（発音）について学ぶ 代替品を勧める、他の選択肢について尋ねる、デメリットについて述べる際の表現を学ぶ	23	11.3	代わりになるものについてディスカッションをする
		23	11.4	議論を始める・追加する、結論を述べる際の表現を学ぶ	24	11.4	議論を含むコメントを読む、書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「問題解決についての提案」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 過去を振り返る	特別な写真について、またその背景のストーリーを述べることができる。 過去の経験を振返り、共有することができる。 ペットを飼うことのメリット・デメリットについての分析を読む、また書くことができる。	24	12.1	知覚（においや音、触感など）に関する表現を学ぶ 強調表現を学ぶ	26	12.1	特別な写真について、またその背景のストーリーについて話す
		25	12.2	記憶、想い出に関する表現を学ぶ [one]（代入）、[it/this]（参照）の使い方を学ぶ	27	12.2	子どもの頃の思い出について話す
		26	12.3	子音連結（発音）について学ぶ 返答を促す、記憶を思い起こす際の表現を学ぶ	28	12.3	過去の経験を振返り、話す
		27	12.4	文と文の連結する際の表現の発音（ストレス）を学ぶ メリット、デメリットを述べる際の表現を学ぶ	29	12.4	ペットを飼うことのメリット・デメリットについての分析を読む、書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルAに向けて			

2022年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルA

教科書	EVOLVE　5
学習到達目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないでやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデザイン授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （対面授業）	回数	Unit	学習内容 （オンデマンド）
Unit 1 一歩前進する	変化への対応方法についや現在・過去の習慣について話すことができる。 問題についてディスカッションをし、強く賛成することができる。 意見についてのエッセイを読む、また書くことができる。	1	1.1	困難に直面した時の表現方法を学ぶ 現在の習慣についての表現を学ぶ	1	1.1	対面授業1.1と連動
		2	1.2	困ったことを表す表現を学ぶ 過去にあった困難なことについて話す 「use to」を用いて過去の習慣について話す	2	1.2	対面授業1.2と連動
		3	1.3	様々なコミュニケーション方法を比較する ある語句を強調して表現する 問題についてディスカッションをする 過去、現在の物事を比較する	3	1.3	対面授業1.3と連動
		4	1.4	意見を述べるエッセイを読む エッセイの組み立て方を学ぶ 意見を述べるエッセイを書く	4	1.4	対面授業1.4と連動
		5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「過去の懐かしい思い出」 ・前期発表と連動する内容			
Unit 2 自然の限界	発見と研究について、異なる環境下での生活について話すことができる。 重要な情報を交換することができる。 自然の中での暮らしについてのインタビュー記事を読むことができる。 場所に関する説明文を書くことができる。	6	2.1	宇宙、海洋探査に関する表現を学ぶ 自然界における人間の活動の影響について話す 比較を用いた表現を学ぶ 探索、研究について話す	5	2.1	対面授業2.1と連動
		7	2.2	珍しい動物についての記事を読む 自然界に関する英語表現を学ぶ 最上級を用いた表現を学ぶ 異なる環境下での生活スタイルについて話す	6	2.2	対面授業2.2と連動
		8	2.3	ハイキングについてのディスカッションを理解する アクセントの強弱、リズムについて学ぶ 重要な情報を交換する 自由時間の行動についてアドバイスをする	7	2.3	対面授業2.3と連動
		9	2.4	遠く離れた場所での生活についての記事を読む 場所についての説明文を書く	8	2.4	対面授業2.4と連動
		10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「アウトドア計画を立てる」 ・前期発表と連動する内容			
Unit 3 私のあり方	性格のタイプについて、好き・嫌いについて話すことができる。 リクエストをする、また答えることができる。 採用に関する投稿を読む、志望動機を書くことができる。	11	3.1	性格のタイプについて話す 関係詞を使う、または省略した表現を学ぶ 性格の長所について話す	9	3.1	対面授業3.1と連動
		12	3.2	好き・嫌いについて話す 現在分詞を用いた表現を学ぶ 様々なものに対してどのように感じるかを話す	10	3.2	対面授業3.2と連動
		13	3.3	職場での会話で用いる英語表現を学ぶ リクエストをする、また答える 礼儀正しいイントネーションを学ぶ	11	3.3	対面授業3.3と連動
		14	3.4	動物園の求人広告を読む 求人に対する志望動機を書く	12	3.4	対面授業3.4と連動
		15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「就職面接」 ・前期発表と連動する内容	13		U1-3の振返り
					14		中間試験
					15		中間試験解説、前期後半に向けて
Unit 4 協力	サポートチームについて話すことができる。 有利な点、不利な点についてディスカッションをすることができる。 サマリーを読む、また書くことができる。	16	4.1	生活の中でのサポートチームについて話す 「so..that」「such..that」「even」「only」を用いた英語表現を学ぶ	16	4.1	対面授業4.1と連動
		17	4.2	集団力学について話す 「self」「selves」、「other」「another」の使い方を学ぶ	17	4.2	対面授業4.2と連動
		18	4.3	ジョブシェアリングについて話す 有利な点、不利な点について話す	18	4.3	対面授業4.3と連動
		19	4.4	チームワークについての記事を読む 記事のサマリーを書く	19	4.4	対面授業4.4と連動
		20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「資金調達のためのイベントを計画する」 ・前期発表と連動する内容			
Unit 5 ヒューマンファクター	新しい技術が人に与える影響、また未来のコミュニケーションについて話すことができる。 案を検討する、比較することができる。 オンライン記事を読む、また例と共に記事を書くことができる。	21	5.1	バーチャルセラピーについてディスカッションをする 仮定法を用いた表現を学ぶ 新しい技術が人に与える影響について話す	20	5.1	対面授業5.1と連動
		22	5.2	未来のコミュニケーションについての討論を理解する 「if」以外の仮定法の表現を学ぶ 未来のコミュニケーションについて話す	21	5.2	対面授業5.2と連動
		23	5.3	ビデオゲームについての討論を理解する トピックに対する意見を述べる 確かなもの、不確かなものについて話す ビデオゲームの利点について話す	22	5.3	対面授業5.3と連動
		24	5.4	翻訳アプリに関する記事を読む オンライン記事に対するコメントを書く	23	5.4	対面授業5.4と連動
		25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「コミュニティ改善計画」 ・前期発表と連動する内容			
Unit 6 予期できないものを予期する	予期できない状況について話すことができる。 憶測を立てることができる。 興味深いストーリーを読む、また書くことが出来る。	26	6.1	突然の名声について話す 名声についての賛否について話す 時制を用いた表現を学ぶ 予期せぬ名声について話す	24	6.1	対面授業6.1と連動
		27	6.2	がっかりした、残念な経験について話す 「can」などの助動詞を用いた間接話法を学ぶ 予期できない状況について話す	25	6.2	対面授業6.2と連動
		28	6.3	不自然な出来事についてのレポートを理解する 憶測を立てる、また他人の憶測に反応する	26	6.3	対面授業6.3と連動
		29	6.4	恥ずかしい失敗についての投稿を読む 面白いストーリーを書く	27	6.4	対面授業6.4と連動
		30	6.5	Time to Speak：前期発表	28		U4-6の振返り
					29		期末試験
					30		期末試験解説、後期に向けて

2022年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルA

教科書	EVOLVE　5
学習到達目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないでやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデザイン授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （対面授業）	回数	Unit	学習内容 （オンデマンド）
Unit 7 優先順位	価値のある経験について、また買い物について話すことができる。 賛成と反対についてのエッセイを読む、書くことができる。	1	7.1	価値のある経験について話す 形容詞や名詞の後の不動名詞、不定詞表現を学ぶ	1	7.1	対面授業7.1と連動
		2	7.2	買い物について話す 動詞のあとの不定詞表現を学ぶ 自分が買ったものについて話す	2	7.2	対面授業7.2と連動
		3	7.3	バーゲンについての表現を学ぶげる 価格の交渉をする 説得をする表現を学ぶ	3	7.3	対面授業7.3と連動
		4	7.4	価値のある経験についてのエッセイを読む 賛成と反対についてのエッセイを書く	4	7.4	対面授業7.4と連動
		5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ボート旅行の交渉をする」 ・後期発表と連動する内容			
Unit 8 ささいな問題	サイドプロジェクトについて話すことができる。他人のアイディアに対し反応することができる。 クレームの手紙を読む、また書くことができる。	6	8.1	整頓しているもの、また乱雑なものについて話す 「be…to＋動詞」を用いた、義務等を表す文法表現を学ぶ	5	8.1	対面授業8.1と連動
		7	8.2	サイドプロジェクトについて話す 未来系の表現を学ぶ 自身のサイドプロジェクトを考える	6	8.2	対面授業8.2と連動
		8	8.3	他人のアイディアに対して意見を述べる 周囲の人達とイベントの計画を立てる	7	8.3	対面授業8.3と連動
		9	8.4	効果的なクレームを伝える方法についての文章を読む クレームの手紙を書く	8	8.4	対面授業8.4と連動
		10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ストレスを減らす方法」 ・後期発表と連動する内容			
Unit 9 物事が起こる	人生を違うものにすること、失敗について話すことができる。 人を安心させることができる。 アドバイスについて書かれた記事を読む、書くことができる。	11	9.1	人生における変化について話す 否定形の仮定法の表現を学ぶ	9	9.1	対面授業9.1と連動
		12	9.2	失敗について話す 願いや後悔についての表現を学ぶ 失敗に対するコメントを述べる	10	9.2	対面授業9.2と連動
		13	9.3	恥ずかしい状況についてのラジオを聞き、理解する 人を安心させるような表現を学ぶ 人が抱える問題について話す	11	9.3	対面授業9.3と連動
		14	9.4	初めて会う人とのスモールトークについての記事を読む アドバイスについての記事を書く	12	9.4	対面授業9.4と連動
		15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテ-ション 「クラス同窓会」 ・後期発表と連動する内容	13		U7-9の振返り
					14		中間試験
					15		中間試験解説、後期後半に向けて
Unit 10 人物、プロフィール	人々の性格について、習慣について話すことができる。 印象について述べることができる。 公的なプロフィールを読む、また書くことができる。	16	10.1	人々の性格の特徴について話す 「前置詞＋動名詞」の表現を学ぶ 自分と友人の性格の違いについて話す	16	10.1	対面授業10.1と連動
		17	10.2	顧客リサーチについて話す 使役動詞を用いた表現を学ぶ 顧客が求めているもの、提供できるものについて話す	17	10.2	対面授業10.2と連動
		18	10.3	自身の印象について述べることができる 直接引用を用いた表現を学ぶ	18	10.3	対面授業10.3と連動
		19	10.4	公的なプロフィールを読む 公的なプロフィールを書く	19	10.4	対面授業10.4と連動
		20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「会社のウェブサイトの改善方法を検討する」 ・後期発表と連動する内容			
Unit 11 本当に？	偽の商品、また誤情報について話すことができる。 信じている事、信じていない事を表現することができる。 説得力のあるエッセイを読む、書くことができる。	21	11.1	偽の商品について話す 受身表現を学ぶ	20	11.1	対面授業11.1と連動
		22	11.2	誤情報について話す 「should」など義務を表す助動詞＋受身の表現方法を学ぶ	21	11.2	対面授業11.2と連動
		23	11.3	信じていること、信じていないことについて表現する 噂についてディスカッションをする	22	11.3	対面授業11.3と連動
		24	11.4	偽の商品レビューの見分け方についての記事を読む 説得力のある文章を書く	23	11.4	対面授業11.4と連動
		25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「解決策をシェアする」 ・後期発表と連動する内容			
Unit 12 必要な資質	才能について、目標について話すことができる。 パフォーマンスに対するレビューを読む、また書くことができる。	26	12.1	才能について話す 「副詞＋形容詞、副詞」の表現を学ぶ	24	12.1	対面授業12.1と連動
		27	12.2	人生を豊かにする方法についてディスカッションをする学ぶ 不可算名詞に関する表現を学ぶ 世の中をよくするためにできることについて話す	25	12.2	対面授業12.2と連動
		28	12.3	入学前のインタビューの会話を理解する 自分の目標について話す	26	12.3	対面授業12.3と連動
		29	12.4	コンサートの裏側担当（技術者）による個人的なストーリーを読む パフォーマンスのレビューを書く	27	12.4	対面授業12.4と連動
		30	12.5	Time to Speak：後期発表	28		U10-12の振返り
					29		期末試験
					30		期末試験解説、全コース振り返り

2022年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルB

教科書	EVOLVE　3
学習到達目標	日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデザイン授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （対面授業）	回数	Unit	学習内容 （オンデマンド）
Unit 1 知り合いになる	相手に質問をする、また質問に答えることができる。自己紹介をし、知り合いになることができる。 親戚へのメールを読む、また書くことができる。	1	1.1	[WH-question]を使い、相手の性格について話す	1	1.1	対面授業1.1と連動
		2	1.2	「間接疑問文」を学ぶ 相手に質問をする、また質問に答える	2	1.2	対面授業1.2と連動
		3	1.3	自己紹介をし、知り合いになる 会話の中、第三者を紹介する	3	1.3	対面授業1.3と連動
		4	1.4	段落を認識する 親戚へのメールを読む、書く	4	1.4	対面授業1.4と連動
		5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「良いリーダーになるには何が必要かをディスカッションし、自分の考えを発表する」 ・前期発表と連動する内容			
Unit 2 持ち物	自分の持ち物について述べることができる。 ネット広告を読む、また書くことができる。	6	2.1	「現在完了形」を復習する 自分の持ち物について述べる	5	2.1	対面授業2.1と連動
		7	2.2	「現在完了形」の文の中の[already/yet]の使い方を学ぶ 自分の持ち物について述べる２	6	2.2	対面授業2.2と連動
		8	2.3	話題を変える表現を学ぶ 短い質問文を使い、関心を示す	7	2.3	対面授業2.3と連動
		9	2.4	ネット広告を読む、書く	8	2.4	対面授業2.4と連動
		10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「出かける時の持ち物についてディスカッションをする」 ・前期発表と連動する内容			
Unit 3 街の場所/道順	助動詞を用いて、自分の町について話すことができる。ビル内の道順を尋ねる、また教えることができる。 求職申し込みを読み、申込書を書くことができる。	11	3.1	「冠詞」を学ぶ 自分の町について話す	9	3.1	対面授業3.1と連動
		12	3.2	「助動詞」を学ぶ	10	3.2	対面授業3.2と連動
		13	3.3	ビル内の道順を尋ねる、また教える表現を学ぶ 聞いた話を理解し、自分の話で重ねて言う	11	3.3	対面授業3.3と連動
		14	3.4	求職申し込みを読み、申込書を書く	12	3.4	対面授業3.4と連動
		15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の人気な場所についてプレゼンをする」 ・前期発表と連動する内容	13		U1-3の振返り
					14		中間試験
					15		中間試験解説、前期後半に向けて
Unit 4 計画を立てる	個人的な意見を述べ、計画を立てることができる。安心させる、またそれに答えることができる。 イベント内容、スケジュールが書いてあるメールを読む、また書くことができる。	16	4.1	[be going to/will]を使い、将来のことについて話す 個人的な意見を述べ、計画を立てる表現を学ぶ	16	4.1	対面授業4.1と連動
		17	4.2	旅行の計画を立てる 「現在進行形」を使い、将来のプランについて話す [will]を使い、突然の決定について話す	17	4.2	対面授業4.2と連動
		18	4.3	難しい状況において、相手を安心させる、またそれに答える表現を学ぶ	18	4.3	対面授業4.3と連動
		19	4.4	イベント内容、スケジュールが書いてあるメールを読む、また書く	19	4.4	対面授業4.4と連動
		20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「さまざまな人に異なるアクティビティをアサインする」 ・前期発表と連動する内容			
Unit 5 ストーリーを話す	驚いたできごと（ものを失くす、見つける、助ける、助けを求める）について話すことができる。 簡単な物語を読む、また書くことができる。	21	5.1	「単純過去形」を使い、ものを失くす/見つける場面において、会話する	20	5.1	対面授業5.1と連動
		22	5.2	「単純過去形」、「過去進行形」を学ぶ、復習する 人を助ける、人に助けを求める場面において、会話する	21	5.2	対面授業5.2と連動
		23	5.3	驚いたできごとについて話す 言葉をかえて、驚きを表す	22	5.3	対面授業5.3と連動
		24	5.4	簡単な物語を読む、書く	23	5.4	対面授業5.4と連動
		25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「おもしろい、驚くストーリーを作り、発表する」 ・前期発表と連動する内容			
Unit 6 問題と解決	都会の問題と解決策について話すことができる。 様々な状況での心配、また安心を表現することができる。 価値観についてのネット投稿を読む、また書くことができる。	26	6.1	「数量詞」を学ぶ 都会の問題について話す	24	6.1	対面授業6.1と連動
		27	6.2	「現在・未来の条件文」を学ぶ 問題と解決策について話す	25	6.2	対面授業6.2と連動
		28	6.3	[though]を使い、反対意見を述べる 様々な状況での心配、また安心を表現する	26	6.3	対面授業6.3と連動
		29	6.4	価値観についてのネット投稿を読む、書く	27	6.4	対面授業6.4と連動
		30	6.5	Time to Speak：前期発表	28		U4-6の振返り
					29		期末試験
					30		期末試験解説、後期に向けて

2022年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルB

教科書	EVOLVE　3
学習到達目標	日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデザイン授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （対面授業）	回数	Unit	学習内容 （オンデマンド）
Unit 7 エンターテイメント	音楽、TV番組、映画について話すことができる。誘いを断る、またそれに答えることができる。 映画のレビューを読む、また書くことができる。	1	7.1	[used to]の使い方を学ぶ 音楽に対して、自分の嗜好の変化について話す	1	7.1	対面授業7.1と連動
		2	7.2	[(not) as….as]を使い、物事を比較する TV番組、映画について話す	2	7.2	対面授業7.2と連動
		3	7.3	誘いを断る、またそれに答える表現を学ぶ [kind of]を使い、お断りの言葉を和らげる	3	7.3	対面授業7.3と連動
		4	7.4	映画のレビューを読む、書く	4	7.4	対面授業7.4と連動
		5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「メディアやエンターテイメントにおける好みの違いについてディスカッションをする」 ・後期発表と連動する内容			
Unit 8 最近の出来事	最近していること、他人のニュースについて話すことができる。 タイムマネジメントについての投稿を読む、また書くことができる。	6	8.1	「現在完了進行形」を使い、最近していることについて話す	5	8.1	対面授業8.1と連動
		7	8.2	「現在完了形」、「現在進行形」を使い、物事の進歩について話す	6	8.2	対面授業8.2と連動
		8	8.3	他人のニュースについて話す [that would be]を使い、自分の意見（コメント）を述べる	7	8.3	対面授業8.3と連動
		9	8.4	タイムマネジメントについての投稿を読む、書く	8	8.4	対面授業8.4と連動
		10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「時間を有効に使う方法を決める」 ・後期発表と連動する内容			
Unit 9 学校と仕事	学校や職場でのルール、勉強方法について話すことができる。自信の有無について表現できる。 履歴書のを読み要点を理解し、またおおまかな履歴書を書くことができる。	11	9.1	助詞（have to, need to, must)を学ぶ 学校でのルール、勉強方法について話す	9	9.1	対面授業9.1と連動
		12	9.2	助詞（can't, must not)を学ぶ 在宅勤務のルール・在宅学習の勉強方法について議論する	10	9.2	対面授業9.2と連動
		13	9.3	自信の有無を表す表現を学ぶ [the thing is]を使い、理由を説明する	11	9.3	対面授業9.3と連動
		14	9.4	履歴書のを読み要点を理解し、またおおまかな履歴書を書く	12	9.4	対面授業9.4と連動
		15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分に合った完璧な仕事をデザインし、発表する。」 ・後期発表と連動する内容	13		U7-9の振返り
					14		中間試験
					15		中間試験解説、後期後半に向けて
Unit 10 商品と選択	商品の詳細について、商品を選ぶ理由について説明することができる。他人が選んだものについて質問する、 商品に関するレビューを読む、また書くことができる。	16	10.1	「単純現在形」の「受動態」を学ぶ 商品は何でできていることについて話す	16	10.1	対面授業10.1と連動
		17	10.2	「単純過去形」の「受動態」を学ぶ 商品の産地について話す	17	10.2	対面授業10.2と連動
		18	10.3	他人が選んだものについて質問する 商品を選ぶ理由について説明する	18	10.3	対面授業10.3と連動
		19	10.4	商品に関するレビューを読む、書く	19	10.4	対面授業10.4と連動
		20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「商品のCMを作成し、発表する。」 ・後期発表と連動する内容			
Unit 11 成功の秘訣	想像上のチャレンジについて、また成功の秘訣について話すことができる。意見を述べ、賛成を求めることができる。 自分を奮い立たせる方法についてのネット記事を読み、それに関するストーリーを書くことができる。	21	11.1	「句動詞」(work out, set up, など)を学ぶ 成功の秘訣について話す	20	11.1	対面授業11.1と連動
		22	11.2	「現在・未来の条件文」を復習する 想像上のチャレンジについて話す	21	11.2	対面授業11.2と連動
		23	11.3	反対意見を述べる際に[I guess/I feel like]を使い、言葉を和らげる 自分の意見を述べ、賛成を求める	22	11.3	対面授業11.3と連動
		24	11.4	自分を奮い立たせる方法についてのネット記事を読み、それに関するストーリーを書く	23	11.4	対面授業11.4と連動
		25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「憧れの人についてプレゼンをする」 ・後期発表と連動する内容			
Unit 12 事故と感情	事故について、またその時の気持ちを表現できる。 人生の教訓についての逸話を読む、また書くことができる。	26	12.1	「不定代名詞」(everywhere, everyone, something, など）を学ぶ 事故について話す	24	12.1	対面授業12.1と連動
		27	12.2	極端な感情、感覚を表す言葉・表現を学ぶ 人から聞いたことを伝えるときの話し方を学ぶ	25	12.2	対面授業12.2と連動
		28	12.3	「感嘆詞」「感嘆文」を学ぶ 人のお気持ちを確認し、第三者に説明する	26	12.3	対面授業12.3と連動
		29	12.4	人生の教訓についての逸話を読む、書く	27	12.4	対面授業12.4と連動
		30	12.5	Time to Speak：後期発表	28		U10-12の振返り
					29		期末試験
					30		期末試験解説、レベルAに向けて

2022年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルC

教科書	EVOLVE　2						
学習到達目標	リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。						
Unit	到達目標 （対面授業・オンデザイン授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （対面授業）	回数	レッスン	学習内容 （オンデマンド）
Unit 1 知人について	知人・家族について話すことができる。 職場でのフォーマルなメールを読む、また書くことができる。	1	1.1	所有形容詞を学ぶ 知人・家族について話す	1	1.1	対面授業1.1と連動
		2	1.2	所有代名詞(whose)を学ぶ	2	1.2	対面授業1.2と連動
		3	1.3	話の切り出し方を学ぶ 会話を始める表現を学ぶ 驚きの気持ちを表す表現及び関心を示す表現を学ぶ	3	1.3	対面授業1.3と連動
		4	1.4	自己紹介をする 職場でのフォーマルなメールを読む、書く	4	1.4	対面授業1.4と連動
		5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「人と共通していることについて話す」 ・前期発表と連動する内容			
Unit 2 仕事と勉強	毎日していることについて話すことができる。 ポッドキャストについての意見を読む、また書くことができる。	6	2.1	習慣・ルーティンについて質問する [Wh-question]を練習する	5	2.1	対面授業2.1と連動
		7	2.2	名詞の代わりの[this, that, these, those]の使い方を学ぶ 職場について話す	6	2.2	対面授業2.2と連動
		8	2.3	繰り返しを求める表現を学ぶ 意思疎通に問題があったことを説明する	7	2.3	対面授業2.3と連動
		9	2.4	ポッドキャストについての意見を読む、書く	8	2.4	対面授業2.4と連動
		10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「仕事や勉強のためのアプリについて発表する」 ・前期発表と連動する内容			
Unit 3 スポーツと運動	今していることについて話すことができる。 サービス業界の会社へのメッセージを読む、また書くことができる。	11	3.1	「現在進行形」を学ぶ・復習する 今していることについて話す	9	3.1	対面授業3.1と連動
		12	3.2	「現在進行形」「単純現在形」を練習する スポーツ、運動について話す	10	3.2	対面授業3.2と連動
		13	3.3	情報を得るため、必要な表現を学ぶ 知らない情報をチェックする	11	3.3	対面授業3.3と連動
		14	3.4	サービス業界の会社へのメッセージを読む、書く	12	3.4	対面授業3.4と連動
		15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「フィットネスプログラムを作る、発表する」 ・前期発表と連動する内容	13		U1-3の振返り
					14		中間試験
					15		中間試験解説、前期後半に向けて
Unit 4 招待	招待する、またそれに応えることができる。 イベントへの招待を読む、また書くことができる。	16	4.1	将来のことを説明する際に使う「現在進行形」を学ぶ 将来のプランについて話す	16	4.1	対面授業4.1と連動
		17	4.2	「目的語」の使い方を学ぶ 贈り物について話す	17	4.2	対面授業4.2と連動
		18	4.3	招待する、招待に応える表現を学ぶ 招待を断る理由を説明する	18	4.3	対面授業4.3と連動
		19	4.4	イベントへの招待を読む、書く	19	4.4	対面授業4.4と連動
		20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「プレゼントを選ぶについて」 ・前期発表と連動する内容			
Unit 5 過去のイベント	人生の中での過去のイベントについて話すことができる。 新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書くことができる。	21	5.1	人生の中での過去のイベントについて話す 自分の意見を述べる；自分の気持ちを相手に伝わる	20	5.1	対面授業5.1と連動
		22	5.2	「過去形」（陳述文の否定形；疑問文）を復習する	21	5.2	対面授業5.2と連動
		23	5.3	お祝いの言葉を学ぶ 人の気持ちを推察する表現を学ぶ 自分の認識が正しいかどうかを確認する	22	5.3	対面授業5.3と連動
		24	5.4	新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書く	23	5.4	対面授業5.4と連動
		25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「過去の有名な出来事をまとめる」 ・前期発表と連動する内容			
Unit 6 買い物	店内で欲しいものについて述べることができる。 新しい商品の説明を読む、またVlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書くことができる。	26	6.1	[be going to]を復習する 買い物に行くことについて会話する	24	6.1	対面授業6.1と連動
		27	6.2	「限定詞」を学ぶ 買い物習慣について話す	25	6.2	対面授業6.2と連動
		28	6.3	店内で欲しいものについて述べる 物事の言い方を英語で聞く	26	6.3	対面授業6.3と連動
		29	6.4	新しい商品の説明を読む、Vlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書く	27	6.4	対面授業6.4と連動
		30	6.5	Time to Speak：前期発表	28		U4-6の振返り
					29		期末試験
					30		期末試験解説、後期に向けて

2022年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルC

教科書	EVOLVE　2						
学習到達目標	リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。						
Unit	到達目標 （対面授業・オンデザイン授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （対面授業）	回数	レッスン	学習内容 （オンデマンド）
Unit 7 食べる・飲む	レストランで頼みたいものについて説明することができる。 ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書くことができる。	1	7.1	「数量詞」を学ぶ 一番好きな食べ物について話す	1	7.1	対面授業7.1と連動
		2	7.2	キッチンカーをデザインする 「動詞型」を学ぶ	2	7.2	対面授業7.2と連動
		3	7.3	レストランで頼みたいものについて説明する 「I mean」を使い、会話を練習する	3	7.3	対面授業7.3と連動
		4	7.4	ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書く	4	7.4	対面授業7.4と連動
		5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「パーティを計画し、発表する」 ・後期発表と連動する内容			
Unit 8 旅行（短期）	提案をする、また提案をうけることができる。 海外生活についてのアドバイスを読む、また書くことができる。	6	8.1	[if / when]の使い方を学ぶ 自分の町で何をするかについて話す	5	8.1	対面授業8.1と連動
		7	8.2	[to / for]を使って、理由を説明する 過去に行った旅行について話す	6	8.2	対面授業8.2と連動
		8	8.3	「問い返し疑問文」を学ぶ 提案をする、また提案をうける表現を学ぶ	7	8.3	対面授業8.3と連動
		9	8.4	海外生活についてのアドバイスを読む、書く	8	8.4	対面授業8.4と連動
		10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「短期旅行のプランを立てる」 ・後期発表と連動する内容			
Unit 9 見た目	意見を尋ねる、また述べることができる。 広告を読む、また写真の説明を書くことができる。	11	9.1	「形容詞の比較級」を学ぶ お店とお店での売り物を比較する	9	9.1	対面授業9.1と連動
		12	9.2	「形容詞の最高級」を学ぶ 写真に写った人について話す	10	9.2	対面授業9.2と連動
		13	9.3	[I guess]を使い、意見を尋ねる、または述べる	11	9.3	対面授業9.3と連動
		14	9.4	広告を読む、また写真の説明を書く	12	9.4	対面授業9.4と連動
		15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「広告を作り、発表する」 ・後期発表と連動する内容	13		U7-9の振返り
					14		中間試験
					15		中間試験解説、後期後半に向けて
Unit 10 職業	将来の予想を立てることができる。 アドバイスについてのメールを読む、また書くことができる。	16	10.1	[have to]の使い方を学ぶ 職場での危険を回避することについて話す	16	10.1	対面授業10.1と連動
		17	10.2	将来の予想を立てる表現を学ぶ 健康問題について話す	17	10.2	対面授業10.2と連動
		18	10.3	[It feels like (it's like)]を使い、健康問題について話す；健康問題についてアドレスをもらう	18	10.3	対面授業10.3と連動
		19	10.4	未来の自分へのメールを書く	19	10.4	対面授業10.4と連動
		20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「リアリティ番組を計画し、発表する」 ・後期発表と連動する内容			
Unit 11 ソーシャルメディア	したことがあること、ないことについて話すことができる。 インフォグラフィックを読む、セルフィーについての短いコメントを書くことができる。	21	11.1	「現在完了形」を学ぶ したことがあること、ないことについて話す	20	11.1	対面授業11.1と連動
		22	11.2	ソーシャルメディア（ネット）生まれの動詞を学ぶ	21	11.2	対面授業11.2と連動
		23	11.3	人に頼む際に使う表現を学ぶ 頼まれた際に使う表現を学ぶ	22	11.3	対面授業11.3と連動
		24	11.4	インフォグラフィックを読む、セルフィーについての短いコメントを書く	23	11.4	対面授業11.4と連動
		25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ビデオ、またVlogを作る」 ・後期発表と連動する内容			
Unit 12 アウトドア	天気について話すことができる。 場所についての説明を読むことができる。方法についての説明リストを書くことができる。	26	12.1	[be like]を使い、天気について話す	24	12.1	対面授業12.1と連動
		27	12.2	「関係代名詞(who, which, that)」の使い方を学ぶ 場所、人、物事を説明する	25	12.2	対面授業12.2と連動
		28	12.3	道を聞く、道順を教える際に使う表現を学ぶ 言い改める際に使う表現を学ぶ、復習する	26	12.3	対面授業12.3と連動
		29	12.4	場所についての説明を読む、方法についての説明リストを書く	27	12.4	対面授業12.4と連動
		30	12.5	Time to Speak：後期発表	28		U10-12の振返り
					29		期末試験
					30		期末試験解説、レベルBに向けて

2022年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルD

教科書	EVOLVE　1
学習到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデザイン授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （対面授業）	回数	レッスン	学習内容 （オンデマンド）
Unit 1 個人的な情報	個人的な情報について尋ねる、また述べることができる。 個人的な経歴等のプロフィールを読む、また書くことができる。	1	1.1	Be 動詞(am, are)の肯定形、否定形を学ぶ 出身地をたずねる表現を学ぶ	1	1.1	対面授業1.1と連動
		2	1.2	個人的な情報をたずねる・説明する表現を学ぶ Be 動詞を学ぶ、復習する 疑問代名詞[What]の使い方を学ぶ	2	1.2	対面授業1.2と連動
		3	1.3	/i/ と /I/の発音を学ぶ ホテルチェックインに使う表現を学ぶ	3	1.3	対面授業1.3と連動
		4	1.4	個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く 大文字、ピリオドの使い方を学ぶ	4	1.4	対面授業1.4と連動
		5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「パーティで新しい人に出会う」 ・前期発表と連動する内容			
Unit 2 家族	友達や家族について表現することができる。 友達や家族の画像にスレッドを入れたり、書かれている情報を読みとることができる。	6	2.1	「はい」「いいえ」で答える質問における [Is / Are]の使い方を学ぶ 家族について話す	5	2.1	対面授業2.1と連動
		7	2.2	[Is / Are]の否定形を学ぶ 友達や家族について話す	6	2.2	対面授業2.2と連動
		8	2.3	年齢、誕生日に関する表現を学ぶ 言い直すに関する言葉を学ぶ	7	2.3	対面授業2.3と連動
		9	2.4	友達の画像にスレッドを入れたり、書かれている情報を読みとる 場所に関する前置詞を学ぶ	8	2.4	対面授業2.4と連動
		10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「友達や家族についての情報を比較する」 ・前期発表と連動する内容			
Unit 3 住居	家や家具について話すことができる。 ホームシェアについてのメールを読む、書くことができる。	11	3.1	所有形容詞（'s & s'）を学ぶ 家について話す	9	3.1	対面授業3.1と連動
		12	3.2	[it is]の使い方を学ぶ 家具について話す	10	3.2	対面授業3.2と連動
		13	3.3	飲み物・スナックをお勧めする/もらう表現を学ぶ 分からない単語について質問する	11	3.3	対面授業3.3と連動
		14	3.4	ホームシェアについてのメールを読む、書く	12	3.4	対面授業3.4と連動
		15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「新居の家具を選ぶ」 ・前期発表と連動する内容	13		U1-3の振返り
					14		中間試験
					15		中間試験解説、前期後半に向けて
Unit 4 好み	好きな事について話すことができる。 商品のレビューを読み、書くことができる。	16	4.1	「現在形」陳述文を学ぶ (I, you, we) 好きな事について話す	16	4.1	対面授業4.1と連動
		17	4.2	「現在形」疑問文を学ぶ (I, you, we) 技術の使い方を説明する	17	4.2	対面授業4.2と連動
		18	4.3	連絡を取り合う方法について話す 相手の話を聞いていることを示す	18	4.3	対面授業4.3と連動
		19	4.4	商品のレビューを読む、書く	19	4.4	対面授業4.4と連動
		20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「好きな音楽について」 ・前期発表と連動する内容			
Unit 5 生活習慣	平日、週末のアクティビティについて話すことができる。 日常のアクティビティについてのレポートを読む、また書くことができる。	21	5.1	「現在形」陳述文（肯定形、否定形）を学ぶ (he, she they) 平日、週末のアクティビティについて話す	20	5.1	対面授業5.1と連動
		22	5.2	「現在形」疑問文（yes/no / WH-question)を学ぶ 時間・ルーティンについて話す	21	5.2	対面授業5.2と連動
		23	5.3	頻度副詞を使い、質問に短く答える 賛成を表す表現を学ぶ 共通点を表す表現を学ぶ	22	5.3	対面授業5.3と連動
		24	5.4	日常のアクティビティについてのレポートを読む、書く	23	5.4	対面授業5.4と連動
		25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「異なる週の活動について比較する」 ・前期発表と連動する内容			
Unit 6 道順	道順について尋ねる、また教えることができる。 場所についての特徴について読み、書くことができる。	26	6.1	[There (is, are), (a lot, some no)]の使い方を学ぶ 町にある場所について話す	24	6.1	対面授業6.1と連動
		27	6.2	「可算名詞・不可算名詞」を学ぶ 近所にある自然について話す	25	6.2	対面授業6.2と連動
		28	6.3	道順について尋ねる、また教える際に使う表現を学ぶ 情報を確認する	26	6.3	対面授業6.3と連動
		29	6.4	場所についての特徴について読む、書く	27	6.4	対面授業6.4と連動
		30	6.5	Time to Speak：前期発表	28		U4-6の振返り
					29		期末試験
					30		期末試験解説、後期に向けて

2022年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルD

教科書	EVOLVE　1
学習到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデザイン授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （対面授業）	回数	レッスン	学習内容 （オンデマンド）
Unit 7 自宅での生活	自宅での生活について話すことができる。 ブログ記事を読み、書くことができる。	1	7.1	「現在進行形」陳述文（肯定形、否定形）を学ぶ 自宅周辺の生活について話す	1	7.1	対面授業7.1と連動
		2	7.2	「現在進行形」疑問文を学ぶ 旅行について話す	2	7.2	対面授業7.2と連動
		3	7.3	[–ing]の発音を学ぶ 電話でニュースを伝える	3	7.3	対面授業7.3と連動
		4	7.4	最近の出来事についてのブログ記事を読む、書く	4	7.4	対面授業7.4と連動
		5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「最近の生活について話す」 ・後期発表と連動する内容			
Unit 8 スキル・能力	自身のスキルや能力について話すことができる。 自分の意見について、オンラインでコメントを読む、また書くことができる。	6	8.1	[Can / Can't]（能力）を使う陳述文・疑問文を学ぶ 自身のスキルや能力について話す	5	8.1	対面授業8.1と連動
		7	8.2	[Can / Can't]（可能性）を使う陳述文・疑問文を学ぶ 職場・学校において、できること・できないことについて話す	6	8.2	対面授業8.2と連動
		8	8.3	自分の意見を述べる 自分はある仕事の適任者であることを説明する	7	8.3	対面授業8.3と連動
		9	8.4	自分の意見について、オンラインでコメントを読む、書く	8	8.4	対面授業8.4と連動
		10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自国民が何が得意かについて話す」 ・後期発表と連動する内容			
Unit 9 休暇・旅行	旅行計画を立てる、また計画について話すことができる。 旅行ガイドを読む、また場所の説明を書くことができる。	11	9.1	[This / These]の使い方を学ぶ 休暇、旅行について話す	9	9.1	対面授業9.1と連動
		12	9.2	[like to, want to, need to, have to]の使い方を学ぶ；使い分けがわかる 旅行計画を立てる	10	9.2	対面授業9.2と連動
		13	9.3	お店で情報を確認する もう一回言ってもらえる表現を学ぶ	11	9.3	対面授業9.3と連動
		14	9.4	旅行ガイドを読む、また場所の説明を書く	12	9.4	対面授業9.4と連動
		15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「休暇の計画をたてる」 ・後期発表と連動する内容	13		U7-9の振返り
					14		中間試験
					15		中間試験解説、後期後半に向けて
Unit 10 週末の計画	週末に向けたアウトドア活動の計画を立てることができる。 オンラインでの招待状を読み、書くことができる。	16	10.1	[be going to]（陳述文）の使い方を学ぶ 週末に向けたアウトドア活動の計画について話す	16	10.1	対面授業10.1と連動
		17	10.2	[be going to]（疑問文）の使い方を学ぶ 旅行の時に着る服装について話す	17	10.2	対面授業10.2と連動
		18	10.3	あることをやってはいけない理由を説明する	18	10.3	対面授業10.3と連動
		19	10.4	オンラインでの招待状を読む、書く	19	10.4	対面授業10.4と連動
		20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町での楽しい週末を計画し、発表する」 ・後期発表と連動する内容			
Unit 11 過去の出来事	過去についての場所や出来事、過去の人について述べることができる。 思い出の品についての記事やメールを読む、また書くことができる。	21	11.1	「過去形」（was / were)の陳述文を学ぶ 過去にあった人、ことについて話す	20	11.1	対面授業11.1と連動
		22	11.2	「過去形」（was / were)の疑問文を学ぶ 色、記憶について話す	21	11.2	対面授業11.2と連動
		23	11.3	次の発言を考えるときに使う代用語を学ぶ 映画、俳優について話す	22	11.3	対面授業11.3と連動
		24	11.4	思い出の品についての記事やメールを読む、書く	23	11.4	対面授業11.4と連動
		25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「子どもの頃から見ているTV番組について発表する」 ・後期発表と連動する内容			
Unit 12 レストラン	食べた食事について話すことができる。 レストランのレビューを読む、また書くことができる。	26	12.1	「過去形」の陳述文を練習する スナック、軽食について話す	24	12.1	対面授業12.1と連動
		27	12.2	「過去形」の疑問文を練習する レストランでの食事について話す	25	12.2	対面授業12.2と連動
		28	12.3	[so / really]（強調する）の使い方を学ぶ 食べ物・飲み物を注文する	26	12.3	対面授業12.3と連動
		29	12.4	レストランのレビューを読む、書く	27	12.4	対面授業12.4と連動
		30	12.5	Time to Speak：後期発表	28		U10-12の振返り
					29		期末試験
					30		期末試験解説、レベルCに向けて

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ミュージックセオリー（Music Theory）	必修選択	必修	年次	1・2年	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	月曜3限

【授業の学習内容】
音楽の言語となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学び、
楽譜からアレンジまで実践的な要素も習得する。
※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラッシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当

【到達目標】
音名を知ることから始め、5線に書かれた楽譜を読めるようにする。
また、メジャースケールや5度圏など、調性についての知識を習得する。

授業計画・内容	
1回目	楽譜の歴史を知る。
2回目	音名を知る。
3回目	音符・休符
4回目	拍子記号
5回目	反復記号
6回目	スコアリーディング及び確認テスト
7回目	メジャースケール
8回目	メジャースケール
9回目	メジャースケール、5度圏、調号
10回目	メジャースケール、5度圏、調号
11回目	記譜法、臨時記号
12回目	記譜法、臨時記号
13回目	テンポ、強弱記号
14回目	スコアリーディング及び期末テスト予習
15回目	期末テスト
準備学習時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20%
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
教科書、iPad、授業プリント

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ミュージックセオリー（Music Theory）	必修選択	必修	年次	1・2年	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	月曜3限

【授業の学習内容】
音楽の言語となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学び、
楽譜からアレンジまで実践的な要素も習得する。

【到達目標】
マイナースケールや近親調など調性についての知識を習得する。
基本形でのコードがわかる。

授業計画・内容	
1回目	マイナースケールを知る。
2回目	マイナースケール
3回目	近親調
4回目	移調
5回目	奏法の記号
6回目	スコアリーディング及び確認テスト
7回目	コード(トライアド)
8回目	コード(トライアド)
9回目	コード(7thコード)
10回目	コード(7thコード)
11回目	その他のコード
12回目	その他のコード
13回目	スコアリーディング及び期末テスト予習
14回目	期末テスト
15回目	テスト返却、復習
準備学習時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20%
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
教科書、iPad、授業プリント

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	イヤートレーニング（Ear Training）	必修選択	必修	年次	1・2年	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	月曜1限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。
音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、
身の回りの音から創造力を習得する。
※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラッシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当

【到達目標】
音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。

授業計画・内容	
1回目	3、4拍子のビート感覚がわかる。2度の音程が歌える、聴き取れる。
2回目	全音、半音の違い、8分音符、C～Eの音を聴き取れる。
3回目	M.mの意味が理解できる。1、8度を聴き取れる。歌える。
4回目	短いフレーズを覚えて楽譜にできる。異名同音の存在が理解できる。M.mの音程が歌える、聴ける。
5回目	簡単な楽譜を見て音を想像できる。
6回目	確認テスト
7回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。
8回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。
9回目	順次進行でC～Gまでの音を聴き分け記譜できる。
10回目	順次進行でC～Gまでの音を聴き分け記譜できる。
11回目	16ビート上で正確に叩ける。
12回目	16ビート上で正確に叩ける。
13回目	メジャーコード、マイナーコードを歌える、聴き取れる。
14回目	テスト対策週
15回目	テスト
準備学習時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
教科書、iPad、授業プリント

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	イヤートレーニング（Ear Training）	必修選択	必修	年次	1・2年	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	月曜2限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。
音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、
身の回りの音から創造力を習得する。
※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラッシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当

【到達目標】
音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。

授業計画・内容	
1回目	マイナースケールを感じて歌うことができる。
2回目	コードの聴き分けができる。
3回目	臨時記号が入ったメロディーを聴いて記譜できる。
4回目	タイが入ったメロディーを聴いて記譜できる。
5回目	テスト対策(まとめ)
6回目	確認テスト
7回目	Fclefの音を聴き記譜できる。
8回目	Fclefの音を聴き記譜できる。
9回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
10回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
11回目	2声のメロディーを聴き分けることができる。
12回目	2声のメロディーを聴き分けることができる。
13回目	テスト対策(まとめ)
14回目	テスト
15回目	テスト返却　復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
教科書、iPad、授業プリント

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ヒストリーオブミュージック（History of Music）	必修選択	必修	年次	1・2年	担当教員	水沼　慎一郎
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	木曜2限

【授業の学習内容】
実際の楽曲を通し、様々な音楽の歴史を深く学んでいく。
※作曲家・ピアニスト　新潟大学卒業。スコラ・カントルム（フランス・パリ）卒業。作曲を清水研作、ナルシス・ボネ、パトリス・ショルティーノの各氏に師事。

【到達目標】
日本と世界の音楽史を学び比較し、これからの音楽を考えていく力を習得する。

授業計画・内容	
1回目	ポピュラー音楽を中心とした歴史背景の説明
2回目	日本の音楽と世界の歴史的背景
3回目	西洋音楽史①：古代の音楽
4回目	西洋音楽史②：中世の音楽
5回目	西洋音楽史③：近代の音楽
6回目	西洋音楽史④：現代の音楽
7回目	西洋音楽史⑤：ブルースからジャズ
8回目	西洋音楽史⑥：ポップス
9回目	日本音楽史①：ポピュラー全盛期
10回目	日本音楽史②：民謡
11回目	日本音楽史③：雅楽
12回目	日本と東洋・欧米の音楽的関係：俯瞰分析
13回目	テスト範囲総括
14回目	筆記テスト
15回目	テスト返却　総括
準備学習時間外学習	
評価方法	1：定期試験10% 2：レポート10% 3：出席率60% 4：授業態度20%
受講生へのメッセージ	音楽史の硬いイメージを取り払い、今日の音楽との関わりを丁寧に伝えるよう心がけます。 年号を暗記するなどの従来の方法だけでなく、実際の曲を通し、音楽の聞き方を一緒に広く変えていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：「Western Music」Claude V. Palisca他
副読本：「音楽中辞典」池辺晋一郎 等
準備物：メモ、筆記用具等

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ヒストリーオブミュージック（History of Music）	必修選択	必修	年次	1・2年	担当教員	水沼 慎一郎
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	木曜3限

【授業の学習内容】
海外を中心にポピュラーミュージックの歴史認識を習得する。
※作曲家・ピアニスト　新潟大学卒業。スコラ・カントルム（フランス・パリ）卒業。作曲を清水研作、ナルシス・ボネ、パトリス・ショルティーノの各氏に師事。

【到達目標】
世界的なスタンダードとされる音楽ジャンル、ミュージシャンについての知識を習得し、国内はもとより海外でも通用する知識の習得。また、日本の音楽ビジネスの現状を世界のルーツを研究することで、より深い認識を習得する。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。海外の音楽シーンの現状を把握する
2回目	楽器、機材の遍歴と音楽ジャンルの関係性を知る
3回目	日本の音楽ビジネスの現状をメディアの生産量の動向から探る。
4回目	日本の音楽ビジネスの現状をメディアの生産量の動向から探る。
5回目	50年代　アメリカ　ロックンロールの誕生①ブラックミュージックの状況
6回目	50年代　アメリカ　ロックンロールの誕生②楽器生産の動向
7回目	60年代　モータウン　ブラックミュージックの革命と公民権運動
8回目	60年代　サイケデリックミュージック　ドラッグカルチャーと大型ロックフェス
9回目	70年代　ハードロック、グラムロック　表現手法の多様化
10回目	70年代　ファンクミュージック、ディスコブーム
11回目	70年代　パンクロック　既存の音楽の解体
12回目	80年代　HIPHOPカルチャー　MTV登場によるメディア革命
13回目	海外の音楽　エンターテインメントについて　テクノロジーや最先端のパフォーマンスを探る
14回目	日本の音楽シーンを振り返る　ミリオンヒットについて
15回目	筆記テスト　総括
準備学習時間外学習	
評価方法	1：定期試験10% 2：レポート10% 3：出席率60% 4：授業態度20%
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：音楽史（洋楽編iPad）
配布資料他

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	DTM ベーシック（DTM Basic）	必修選択	選択必修	年次	1・2年	担当教員	野崎　貴潤
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	木曜1限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
Logic,GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。
〈講師プロフィール〉
日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】
DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。

授業計画・内容	
1回目	授業内容説明、DTMでの作業及び作曲の手順について、PCの立ち上げ、セッション作成、保存を理解できる
2回目	Logic,GarageBand① 機能の説明/302講習　8の字巻きが出来る
3回目	Logic,GarageBand② 機能の説明、ツールを理解出来る
4回目	Logic,GarageBand③ 打ち込み練習（Drum）・トラックスタックを習得
5回目	Logic,GarageBand④ 打ち込みが出来る（Drum,Bass）
6回目	Logic,GarageBand⑤ 打ち込みが出来る（Drum,Bass,Piano）
7回目	Logic,GarageBand⑥ 打ち込みが出来る（Drum,Bass,Piano,Guitar）
8回目	Logic,GarageBand⑦ 打ち込みが出来る
9回目	Logic,GarageBand⑦ Plug inの基本、説明（AUX,BUS）が理解できる
10回目	Logic,GarageBand⑧ Plug inの説明(Reverbとその種類)が理解できる
11回目	Logic,GarageBand⑨ Plug inの説明（Compressor,EQ）が理解できる
12回目	Logic,GarageBand⑩ Plug inの復習
13回目	Logic,GarageBand⑩ Plug inの応用が出来る
14回目	Logic,GarageBand⑩ Plug inの応用が出来る
15回目	実技テスト
準備学習時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 実技テスト（提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか）
受講生へのメッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。

【使用教科書・教材・参考書】
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	DTM ベーシック（DTM Basic）	必修選択	選択必修	年次	1・2年	担当教員	野崎　貴潤
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	木曜1限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
Logic,GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。
〈講師プロフィール〉
日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】
DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。

授業計画・内容	
1回目	マイクの種類について理解できる
2回目	色々な種類のマイクを使った録音が出来る
3回目	音質（ビットレート）・圧縮データ/非圧縮データ・バウンスについて理解できる
4回目	オートメーションを書く（strings EQ）拍子・BPMの切り替えが出来る
5回目	自身の曲の曲作り
6回目	自身の曲の歌どりが出来る
7回目	Melodyneを使ったピッチ修正を習得
8回目	Melodyneを使ったピッチ修正を習得
9回目	簡単Mix① 音量と配置を理解出来る
10回目	簡単Mix② CompressorとEQを使う事が出来る
11回目	簡単Mix③ 空間系プラグインを使う事が出来る（reverb他）
12回目	①②③を実際に応用できる
13回目	①②③を実際に応用できる
14回目	これまでの授業の復習、応用
15回目	実技テスト
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 実技テスト（提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか）
受講生への メッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。

【使用教科書・教材・参考書】
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名 (英)	アレンジング (arranging)	必修 選択	選択必修	年次	1年	担当教員	野崎　貴潤
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	木曜1限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

Logic,GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。

〈講師プロフィール〉

日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】

DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。

授業計画・内容	
1回目	授業内容説明、１学年の復習
2回目	色々な楽曲の分析①コード進行、メロディを理解出来る
3回目	色々な楽曲の分析②コード進行、メロディを理解出来る
4回目	色々な楽曲の分析③アレンジが出来る
5回目	色々な楽曲の分析④アレンジが出来る
6回目	色々な楽曲の分析⑤アレンジが出来る
7回目	色々な楽曲の分析⑥歌詞を理解出来る
8回目	色々な楽曲の分析⑦歌詞を理解出来る
9回目	楽曲の制作①Logicを使用できる
10回目	楽曲の制作②Logicを使用できる
11回目	楽曲の制作③Logicを使用できる
12回目	楽曲の制作④Logicを使用できる
13回目	自分たちが作った楽曲の発表、分析
14回目	前期の授業の復習
15回目	実技テスト
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。
評価方法	１．定期試験（％） ２．小テスト（％） ３．レポート（％） ４．課題成果（％） ５．実地試験（％） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格 実技テスト（提示された課題に沿って楽曲制作ができるか）
受講生への メッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名 (英)	アレンジング (arranging)	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	野崎　貴潤
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	木曜1限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

Logic,GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。

〈講師プロフィール〉

日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】

DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。

授業計画・内容	
1回目	前期の授業の復習
2回目	Logicを使った楽曲の制作①テーマ、コンセプトを理解する
3回目	Logicを使った楽曲の制作②コード進行、メロディを理解出来る
4回目	Logicを使った楽曲の制作③コード進行、メロディを理解出来る
5回目	Logicを使った楽曲の制作④アレンジが出来る
6回目	Logicを使った楽曲の制作⑤アレンジが出来る
7回目	Logicを使った楽曲の制作⑥アレンジが出来る
8回目	Logicを使った楽曲の制作⑦アレンジ、作詞を分析出来る
9回目	Logicを使った楽曲の制作⑧アレンジ、作詞を分析出来る
10回目	Logicを使った楽曲の制作⑨アレンジ、歌録りが出来る
11回目	Logicを使った楽曲の制作⑩Mixが出来る
12回目	Logicを使った楽曲の制作⑩マスタリングが出来る
13回目	Logicを使った楽曲の制作⑪Mix、マスタリングが出来る
14回目	後期の授業の復習
15回目	実技テスト
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格 実技テスト（提示された課題に沿って楽曲制作ができるか）
受講生への メッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名 (英)	トラディショナルハーモニー (Traditional Harmony)	必修 選択	**必修**	年次	1	担当教員	渡辺　智哉
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	**講義・演習**	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	火曜1限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

総合的な音楽の基礎を習得し、楽譜の理解、読み書き出来るようになる。
音楽でコミュニケーションが取れるようになる。
※実務者経験：ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

【到達目標】

プロミュージシャンや声優、俳優には移調や楽曲制作、演奏に必要な基礎知識、裏方には照明や台本に照らし合わせてタイミングや間の取り方を、そして音楽の基礎知識をあまり必要としない学科の学生にも、学び方や、考え方の多面性を育てることが目標。

授業計画・内容	
1回目	＜楽譜の歴史＞　ファンデーションカリキュラムの説明、楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への移り変わりを説明出来る
2回目	＜音名＞　鍵盤と音名の一致　楽器ごとの音域を説明出来る
3回目	＜音符、休符＞　音符、休符の表し方を説明出来る
4回目	＜拍子記号＞　小節線について、単純拍子、複合拍子は紹介のみ、タイ、シンコペーションを説明出来る
5回目	＜反復記号＞　反復記号を学び、音源を使用して楽譜の読み方を習得
6回目	＜スコアリーディング＞　楽譜と音源を使用し、前半の総復習を行う
7回目	＜確認テスト＞確認テスト
8回目	＜メジャースケール＞　メジャースケールの仕組み、♯系のメジャースケールの仕組みを説明出来る
9回目	＜メジャースケール＞　5度圏の仕組みを説明出来る
10回目	＜メジャースケール＞　♭系のメジャースケールの仕組みを説明出来る
11回目	＜記譜法、臨時記号＞　調号を臨時記号の違い、臨時記号の効力、正しい楽譜の書き方を習得
12回目	＜テンポ記号＞　速度記号、速度標語を説明出来る
13回目	＜強弱記号＞　速度記号強弱記号を説明出来る
14回目	＜スコアリーディング＞　楽譜と音源を使用し、後半の総復習
15回目	中間テスト
準備学習 時間外学習	基礎から楽しく学んでいきましょう。
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

Ipad教科書、ワークブック

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名(英)	トラディショナルハーモニー(Traditional Harmony)	必修選択	必修	年次	2	担当教員	渡辺　智哉
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	火曜1限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

総合的な音楽の基礎を習得し、楽譜の理解、読み書き出来るようになる。
音楽でコミュニケーションが取れるようになる。
※実務者経験：ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

【到達目標】

コード理論を学ぶにあたって、楽曲分析や作曲など創作に必要な知識を習得。

授業計画・内容	
1回目	＜マイナースケール＞　マイナースケールの仕組み、５度圏を用いてナチュラルマイナーを説明出来る
2回目	＜マイナースケール＞　ハーモニックマイナーを説明出来る
3回目	＜マイナースケール＞メロディックマイナーを説明出来る
4回目	＜近親調＞　各調の関係を楽譜を用いて習得
5回目	＜移調＞　５線を用いて移調をできるようになる
6回目	＜奏法＞　省略記号、奏法記号を説明出来る
7回目	＜奏法＞　装飾記号を説明出来る
8回目	確認テスト
9回目	＜トライアド＞　コードの概念とトライアドの構造についてを説明出来る
10回目	＜７thコード＞　トライアドの知識を踏まえ7thコードに発展させることが出来る
11回目	＜dim7と７thコードの復習＞トライアドと７thコード、dimコードの構造と響きの違いを曲を用いて説明出来る
12回目	＜その他のコード＞add9コードについて説明出来る
13回目	＜その他のコード＞sus4,6thコードについて説明出来る
14回目	期末予備テスト
15回目	期末テスト
準備学習時間外学習	コードについてのプリントで宿題がでます
評価方法	１．定期試験（%） ２．小テスト（%） ３．レポート（%） ４．課題成果（%） ５．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格 出席率 期末テスト
受講生へのメッセージ	コードについて学ぶことは全ての演奏者にとって大切なことです。頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

Ipad教科書、ワークブック

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	パフォーマンス（Performance）	必修選択	必修選択	年次	1年	担当教員	有限会社ソウルマティックス
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜1・2限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。
また、外化をすることで他者とのコミニケーションをはかり、そのスキルも習得。
〈講師プロフィール〉有限会社ソウルマティックスのディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行

【到達目標】
1年次終了時には、基礎知識を理解し、自発的にトレーニングを行える環境を整えることを目標とする。

授業計画・内容	
1回目	自己紹介で始まり、前期目標を説明。その後基礎トーレニング方法を実演出来る
2回目	基礎トレーニング講義、実演。ファルセットの発声法を習得
3回目	1人1人イーストレッチ、ファルセット確認。基礎を活かすための課題曲を実演出来る
4回目	全体基礎トレーニング実演。個人的課題曲を基礎を生かし歌唱出来る
5回目	1人1人イーストレッチ、ファルセット確認。メジャースケールでの発声が出来る
6回目	メジャースケールでの発声を軸にマイナースケールでの発声が出来る
7回目	基礎知識、トレーニング小テスト
8回目	全体基礎トレーニング。1人1人イーストレッチ、ファルセットの発声法を習得
9回目	全体基礎トレーニング。基礎を応用した課題曲を実演出来る
10回目	1人1人イーストレッチ、ファルセットを用いた課題曲を実演出来る
11回目	全体基礎トレーニング。1人1人イーストレッチ、ファルセットの発声法を習得
12回目	課題曲を通して基礎から応用できているかを確認し理解出来る
13回目	基礎トレーニングを通して発声法を説明4出来る
14回目	課題曲を通して発声法を生かす事が出来る
15回目	前期基礎トレーニング実演テスト
準備学習 時間外学習	授業外での個人練習、および予習・復習
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 実技テスト（基礎知識の理解力、実演力）
受講生への メッセージ	基礎練習は地味ではありますが、ヴォーカリストとして必ず必要となる技術と知識を学ぶ事ができます。他者との比較ではなく、自分自身とみつめる時間を過ごすことで、ヴォーカリストとして必ず大きく成長します。トレーニングを習慣化させ、日々の成長に繋げていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	パフォーマンス（Performance）	必修選択	必修選択	年次	1年	担当教員	松原 匠
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜3・4限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
実際の演奏で必要な技術をそれぞれの技術に合った課題曲を出しながら、実践し習得していく。楽器の仕組み、音色の選び方、その音色に合った奏法、キーチェンジの方法、様々なジャンルのリズム、アンサンブルする時は何をしたら良いか、耳コピの方法を習得します。
〈講師プロフィール〉Rachel Mother Gooseのキーボーディストとしてユニバーサル・ミュージックからメジャーデビュー。その他misono等のアーティストとの共演、専門学校やスタジオ等での演奏指導、またインストゥルメンタルバンドプロジェクト WMOでの活動など、多岐に渡り活動中。

【到達目標】
基本的な楽器の操作ができるようになること。課題曲の自分のパートを耳コピできるようになること。シャッフル、イーブンの違いや、ハネたリズムを理解できること。ブルース進行でバッキング、ソロ、キューを出せるようになること。

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、1年間での具体的な目標設定
2回目	楽器の基本的な使用方法を理解し操作できるようにする
3回目	担当楽器のバンド内での役割を理解し演奏できるようにする
4回目	7thのコードを理解し弾けるようにする
5回目	ブルース進行について理解しバッキングができるようにする
6回目	シャッフルのリズムを理解し弾けるようにする
7回目	基本的なブルース進行でセッションができるようにする
8回目	耳コピの方法を習得する
9回目	耳コピで音をとり再現できるようにする
10回目	ダイアトニックコードを理解できるようにする
11回目	ダイアトニックコードを理解しキーチェンジができるようにする
12回目	8分のグルーヴを体で感じ演奏できるようにする
13回目	16分の細かいグルーヴを体で感じ演奏できるようにする
14回目	今までのおさらい
15回目	実技テスト
準備学習 時間外学習	特に必要はありません。
評価方法	授業態度10% 出席率10% 実技テスト80% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生への メッセージ	アンサンブルの中で必要な技術を教えていきます。奏法や知識を使いカッコいいミュージシャンになりましょう。よろしくお願いします。

【使用教科書・教材・参考書】
その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものはありません。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	パフォーマンス（Performance）	必修選択	必修選択	年次	1年	担当教員	河野　充生
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	火曜5限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
アコースティック、エレクトリックの生楽器（4リズム、パーカッション、ストリングス、ホーンズなど）に関する知識を深め、基本的な音域や奏法について実習を行う。ギター、ベース、キーボード、ドラムス、パーカッションについては実際に演奏し、アンサンブルやバンドアレンジの基本的な手法を習得する。
〈講師プロフィール〉ライブ、レコーディングでサポートした主なアーティストは、絢香、PUFFY、森山直太朗、松浦亜弥、近藤真彦、テゴマス、川嶋あい、嵐、KinKi Kids、Kiroro、小林香織など。ロックバンドBlindBirdなどでも精力的に活動中。

【到達目標】
1、様々な生楽器の名称とその音色について説明できる。 2、 4リズムの内、1種類以上の楽器の基本的な奏法を習得する。 3、アンサンブルについての基礎的な知識や考え方を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	生楽器の名称とその音色について①　ギターの種類や音色、音源からの聴き取りが出来る。
2回目	生楽器の名称とその音色について②　ベースの種類や音色、音源からの聴き取りが出来る。
3回目	生楽器の名称とその音色について③　キーボードの種類や音色、音源からの聴き取りが出来る。
4回目	生楽器の名称とその音色について④　ドラムスの種類や音色、音源からの聴き取りが出来る。
5回目	ドラムセットについて①　各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
6回目	ドラムセットについて②　各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
7回目	ベースについて①　ベースの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
8回目	ベースについて②　ベースの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
9回目	ギターについて①　ギターの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
10回目	ギターについて②　ギターの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
11回目	キーボードについて①　キーボードの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
12回目	キーボードについて②　キーボードの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
13回目	4リズムのアレンジメント　各楽器の役割を把握した上でのリズムアレンジを習得する。
14回目	4リズムのアレンジメント　各楽器の役割を把握した上でのリズムアレンジを習得す
15回目	総復習とテスト。
準備学習 時間外学習	生楽器を実際に手にして演奏してみること、また様々な生楽器の音色を体感することで、作曲やDTMに於けるアイデアを沢山身につけることができます。ワークショップ形式ですので、一緒に楽しみながら演奏しましょう。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
チャート、プリントを配布。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	パフォーマンス（Performance）	必修選択	必修選択	年次	1年	担当教員	有限会社ソウルマティックス
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜1・2限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。
また、外化をすることで他者とのコミニケーションをはかり、そのスキルも習得。
〈講師プロフィール〉有限会社ソウルマティックスのディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行

【到達目標】
1年次終了時には、基礎知識を理解し、自発的にトレーニングを行える環境を整えることを目標とする。

授業計画・内容	
1回目	前期内容を振り返り、後期授業目標設定。基礎トレーニング方法を実演出来る
2回目	新しい発声法を理解し説明出来る
3回目	新しい発声法を用いてトレーニング出来る
4回目	新しい発声法を用いて課題曲を実演出来る
5回目	呼吸を理解し課題曲を実演出来る
6回目	表情筋を使用し課題曲を実演出来る
7回目	イーストレッチ・共鳴・裏声小テスト。課題曲指導。
8回目	外化。課題曲実演会。
9回目	ソルフェージュを行い課題曲の譜面を理解出来る
10回目	新しい発声法を理解し説明出来る
11回目	新しい発声法を用いてトレーニング出来る
12回目	新しい発声法を用いて課題曲を実演出来る
13回目	呼吸と表情筋を使い課題曲を実演出来る
14回目	共鳴を理解し課題曲を実演出来る
15回目	外化。課題曲実演会。
準備学習 時間外学習	授業外での個人練習、および予習、復習。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 実技テスト（基礎知識の理解力、実演力）
受講生への メッセージ	基礎練習は地味ではありますが、ヴォーカリストとして必ず必要となる技術と知識を学ぶ事ができます。 他者との比較ではなく、自分自身とみつめる時間を過ごすことで、ヴォーカリストとして必ず大きく成長します。トレーニングを習慣化させ、日々の成長に繋げていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	パフォーマンス（Performance）	必修選択	必修選択	年次	1年	担当教員	松原 匠
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜3・4限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
実際の演奏で必要な技術をそれぞれの技術に合った課題曲を出しながら、実践し習得していく。楽器の仕組み、音色の選び方、その音色に合った奏法、キーチェンジの方法、様々なジャンルのリズム、アンサンブルする時は何をしたら良いか、耳コピの方法を習得します。
〈講師プロフィール〉Rachel Mother Gooseのキーボーディストとしてユニバーサル・ミュージックからメジャーデビュー。その他misono等のアーティストとの共演、専門学校やスタジオ等での演奏指導、またインストゥルメンタルバンドプロジェクト WMOでの活動など、多岐に渡り活動中。

【到達目標】
ファンク、ジャズ、ロックのリズム感を理解し、バッキングやソロを弾けるようにすること。アレンジはどのように入れれば良いかを判断できること。チャーチモードを理解し弾けるようにすること。

授業計画・内容	
1回目	前期のおさらい
2回目	ファンクの16分のリズム感を習得し、演奏できるようにする
3回目	ゴーストノートや休符を入れたパーカッシブなソロを弾けるようにする
4回目	演奏しながらコーラスする方法を習得し、実践できるようにする
5回目	ペンタトニックを使ったロックなフレーズを習得し、弾けるようにする
6回目	担当パートが無い曲での演奏方法を習得し、アンサンブルに活かせるようにする
7回目	ブルーノートなどの半音を使ったフレーズを弾けるようにする
8回目	スイングのリズムを理解し弾けるようにする。
9回目	Ⅱ－Ⅴを理解し、そこに合う音使いを取得し弾けるようにする
10回目	Ⅱ－Ⅴを理解し、そこに合う音使いを取得し弾けるようにする
11回目	チャーチモードを理解し様々なキーで弾けるようにする
12回目	チャーチモードを理解し様々なキーで弾けるようにする
13回目	今までのおさらい
14回目	実技テスト
15回目	総復習
準備学習 時間外学習	特に必要はありません。
評価方法	授業態度10% 出席率10% 実技テスト80% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生への メッセージ	前期では基本的な楽器の操作や役割を習得しましたが、後期ではもう少し他のジャンルのリズムや知識を教えていきます。幅を広げて様々なジャンルに携わることができるミュージシャンを目指しましょう。よろしくお願いします。

【使用教科書・教材・参考書】
その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものはありません。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	パフォーマンス（Performance）	必修選択	必修選択	年次	1年	担当教員	河野　充生
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	火曜5限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
アコースティック、エレクトリックの生楽器（4リズム、パーカッション、ストリングス、ホーンズなど）に関する知識を深め、基本的な音域や奏法について実習を行う。ギター、ベース、キーボード、ドラムス、パーカッションについては実際に演奏し、アンサンブルやバンドアレンジの基本的な手法を習得する。
〈講師プロフィール〉ライブ、レコーディングでサポートした主なアーティストは、絢香、PUFFY、森山直太朗、松浦亜弥、近藤真彦、テゴマス、川嶋あい、嵐、KinKi Kids、Kiroro、小林香織など。ロックバンドBlindBirdなどでも精力的に活動中。

【到達目標】
1、様々な生楽器の名称とその音色について説明できる。 2、 4リズムの内、1種類以上の楽器の基本的な奏法を習得する。 3、アンサンブルについての基礎的な知識や考え方を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	ドラムセットについて③　基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。
2回目	ドラムセットについて④　基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。
3回目	ベースについて③　基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。
4回目	ベースについて④　基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。
5回目	ギターについて③　基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。
6回目	ギターについて④　基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。
7回目	キーボードについて③　基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。
8回目	キーボードについて④　基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。
9回目	パーカッションについて①　各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
10回目	パーカッションについて②　各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
11回目	ストリングスについて①　各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
12回目	ストリングスについて②　各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
13回目	ホーンズについて①　各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
14回目	ホーンズについて②　各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
15回目	総復習とテスト。
準備学習 時間外学習	生楽器を実際に手にして演奏してみること、また様々な生楽器の音色を体感することで、作曲やDTMに於けるアイデアを沢山身につけることができます。ワークショップ形式ですので、一緒に楽しみながら演奏しましょう。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
チャート、プリントを配布。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ゴスペルアンサンブル（Gospel Ensemble）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	有限会社ソウルマティックス
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	水曜1・2限目

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。
また、外化をすることで他者とのコミニケーションをはかり、そのスキルも習得。
〈講師プロフィール〉有限会社ソウルマティックスのディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行

【到達目標】
「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」、それらを体感し信じられるようになる。

授業計画・内容	
1回目	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャーし楽曲を理解出来る
2回目	メディテーションワーク、2曲復習楽曲を歌唱出来る
3回目	新曲1曲レクチャー、1曲パフォーマンスが出来る
4回目	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス出来る
5回目	楽曲復習、パフォーマンスを習得
6回目	楽曲復習、パフォーマンスを習得
7回目	3曲新曲をレクチャーし楽曲を理解出来る
8回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンスが出来る
9回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンスが出来る
10回目	プレイフルワーク、楽曲復習
11回目	楽曲復習、新曲レクチャーし理解できる
12回目	楽曲復習、新曲の歌唱出来る
13回目	楽曲復習、ケィティワーク
14回目	楽曲復習、クラス内パフォーマンスが出来る
15回目	実技テスト
準備学習 時間外学習	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか）
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身についていきます。

【使用教科書・教材・参考書】
歌詞カード、ボイスレコーダー

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ゴスペルアンサンブル（Gospel Ensemble）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	有限会社ソウルマティックス
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	水曜1・2限目

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。
また、外化をすることで他者とのコミニケーションをはかり、そのスキルも習得。
〈講師プロフィール〉有限会社ソウルマティックスのディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行

【到達目標】
「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」、それらを体感し信じられるようになる。

授業計画・内容	
1回目	ワーク、新曲1曲レクチャーし楽曲を理解出来る
2回目	ワーク、前回の楽曲を歌唱出来る
3回目	ワーク、前回の楽曲をパフォーマンスしながら歌唱出来る
4回目	ワーク、新曲1曲レクチャーし楽曲を理解出来る
5回目	ワーク、前回の楽曲を歌唱出来る
6回目	ワーク、前回の楽曲をパフォーマンスしながら歌唱出来る
7回目	ワーク、新曲1曲レクチャーし楽曲を理解出来る
8回目	ワーク、前回の楽曲を歌唱出来る
9回目	ワーク、前回の楽曲をパフォーマンスしながら歌唱出来る
10回目	ワーク、新曲1曲レクチャーし楽曲を理解出来る
11回目	ワーク、前回の楽曲を歌唱出来る
12回目	ワーク、前回の楽曲をパフォーマンスしながら歌唱出来る
13回目	ワーク、新曲1曲レクチャーし楽曲を理解出来る
14回目	ワーク、前回の楽曲を歌唱出来る
15回目	ワーク、前回の楽曲をパフォーマンスしながら歌唱出来る　実技テスト

準備学習 時間外学習	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか）		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身についていきます。		

【使用教科書・教材・参考書】
歌詞カード、ボイスレコーダー

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	パフォーマンスプロジェクト（Performance Projects）	必修選択	必修選択	年次	1年	担当教員	渡辺 智哉
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			（単位）	4	曜日・時限	金曜3・4限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム、キーボードのパートと課題曲をアンサンブルし、実際のセッションの中での立ち位置を理解し、演奏方法やパフォーマンス、インプロビゼーションの技術を習得する。課題曲を2週ごとに1曲出し、1週目はその曲のアナライズをし、2週目は実際にアンサンブルを行う。
※実務者経験：ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

【到達目標】
アナライズまでには課題曲をしっかり聴き、できる限り自分のパートを弾けるようにしておく。アナライズでは、聴き取ってきたフレーズやリズムが合っているかの確認と訂正、音色の選択、ソロがある場合はインプロビゼーションができるようにする。アンサンブルでは実際にアナライズした内容を実践し、バンド内でのグルーヴ感や、演奏力、アイコンタクトやキュー出し、パフォーマンス力を身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	課題曲1アナライズ　楽曲の説明ができる
2回目	課題曲1アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
3回目	課題曲2アナライズ　楽曲の説明ができる
4回目	課題曲2アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
5回目	課題曲3アナライズ　楽曲の説明ができる
6回目	課題曲3アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
7回目	課題曲4アナライズ　楽曲の説明ができる
8回目	課題曲4アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
9回目	課題曲5アナライズ　楽曲の説明ができる
10回目	課題曲5アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
11回目	課題曲6アナライズ　楽曲の説明ができる
12回目	課題曲6アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
13回目	課題曲7アナライズ　楽曲の説明ができる
14回目	課題曲7アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
15回目	アンサンブル総復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業態度10% 出席率10%　　実 技テスト80% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生への メッセージ	実際のアンサンブルを通して、演奏面だけでなく、パフォーマンス力も付けてしっかりステージの上で輝けるようなミュージシャンを目指しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものはありません。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	パフォーマンスプロジェクト（Performance Projects）	必修選択	必修選択	年次	1年	担当教員	渡辺　智哉
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	金曜3・4限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム、キーボードのパートと課題曲をアンサンブルし、実際のセッションの中での立ち位置を理解し、演奏方法やパフォーマンス、インプロビゼーションの技術を習得する。課題曲を2週ごとに1曲出し、1週目はその曲のアナライズをし、2週目は実際にアンサンブルを行う。
※実務者経験：ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

【到達目標】
アナライズまでには課題曲をしっかり聴き、できる限り自分のパートを弾けるようにしておく。アナライズでは、聴き取ってきたフレーズやリズムが合っているかの確認と訂正、音色の選択、ソロがある場合はインプロビゼーションができるようにする。アンサンブルでは実際にアナライズした内容を実践し、バンド内でのグルーヴ感や、演奏力、アイコンタクトやキュー出し、パフォーマンス力を身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	課題曲1アナライズ　楽曲の説明ができる
2回目	課題曲1アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
3回目	課題曲2アナライズ　楽曲の説明ができる
4回目	課題曲2アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
5回目	課題曲3アナライズ　楽曲の説明ができる
6回目	課題曲3アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
7回目	課題曲4アナライズ　楽曲の説明ができる
8回目	課題曲4アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
9回目	課題曲5アナライズ　楽曲の説明ができる
10回目	課題曲5アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
11回目	課題曲6アナライズ　楽曲の説明ができる
12回目	課題曲6アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
13回目	課題曲7アナライズ　楽曲の説明ができる
14回目	課題曲7アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
15回目	アンサンブル総復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業態度10% 出席率10%　　実 技テスト80% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生への メッセージ	実際のアンサンブルを通して、演奏面だけでなく、パフォーマンス力も付けてしっかりステージの上で輝けるようなミュージシャンを目指しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものはありません。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	作編曲法（Composition Arrangement）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	野崎　貴潤
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	木曜5限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
主にメジャーダイアトニックコードについて、またコード進行制作の基礎を習得
〈講師プロフィール〉日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】
ダイアトニックコードの理解とコードトーンの理解
ダイアトニックコードを使用したコード進行を制作できるようになる

授業計画・内容	
1回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード（3和音）とディグリーネームについてを習得
2回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコードを使ったコード進行と定番のコード進行を習得
3回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード、コードトーンを使ったメロディーについてを習得
4回目	Key of G・Dのメジャーダイアトニックコード（3和音）とディグリーネームについてを習得
5回目	Key of A・E・Fのメジャーダイアトニックコード（3和音）とディグリーネームについてを習得
6回目	メジャーダイアトニックコードについての復習
7回目	中間テスト
8回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード4和音についと、コード進行作成演習、ディグリーネームを使った演
9回目	＃系Keyのメジャーダイアトニックコード4和音について、コード進行作成演習、キーチェンジ（移調）を習得
10回目	b系Keyのメジャーダイアトニックコード4和音について、コード進行作成演習、キーチェンジ（移調）を習得
11回目	sus4コードの紹介と使用法を習得
12回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う
13回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う
14回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う
15回目	実技テスト

準備学習 時間外学習	授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。 授業で習った事を実践してみましょう。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	実技テスト（提示された課題に沿って、楽曲制作ができるか）
受講生へのメッセージ	●1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音（保存）しておくようにしましょう。 ●ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。 ●各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。 ●DAW（ProTools、Logic etc)の扱い方も勉強しておきましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	作編曲法（Composition Arrangement）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	野崎　貴潤
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	木曜6限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
主にメジャーダイアトニックコードの復習にあわせサブドミナントマイナーコードについて、またコード進行制作とメロディーのアナライズを行う事により、楽曲制作の基礎を習得。Bluesなど特殊なコード進行についても学び、音楽の視野を広げる。
〈講師プロフィール〉日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】
ダイアトニックコードとノンダイアトニックコードを理解しコード進行制作ができる
楽曲のアナライズ（コード進行・メロディーライン）が行えるようになる

授業計画・内容	
1回目	メジャーダイアトニックコードとポピュラーミュージックでよく出るサブドミナントマイナーコードを習得
2回目	メジャーダイアトニックコードとポピュラーミュージックでよく出るサブドミナントマイナーコードを習得
3回目	サブドミナントマイナーの入るコード進行でのメロディーの制作を行う
4回目	サブドミナントマイナーの入るコード進行でのメロディーの制作を行う
5回目	Ⅱm7-Ⅴ7進行を習得
6回目	Ⅱm7(b5)-Ⅴ7(b9)進行を習得
7回目	中間テスト
8回目	Blues進行を習得
9回目	Blues進行とJazz Bluesを習得
10回目	Ⅱm7-Ⅴ7を使用したコード進行についてを習得
11回目	Ⅱm7-Ⅴ7を使用したコード進行について実践できる
12回目	コード進行とメロディーラインの関係について（アナライズ・分析演習）①
13回目	コード進行とメロディーラインの関係について（アナライズ・分析演習）②
14回目	コード進行とメロディーラインの関係について（アナライズ・分析演習）③
15回目	期末テスト
準備学習 時間外学習	授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。 授業で習った事を実践してみましょう。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 実技テスト（提示された課題に沿って、楽曲制作ができるか）
受講生へのメッセージ	●1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音（保存）しておくようにしましょう。 ●ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。 ●各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。 ●DAW（ProTools、Logic etc)の扱い方も勉強しておきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名(英)	ソングライティング (Song writing)	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	野崎　貴潤
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	木曜2限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

①ヒット曲やルーツ音楽のアナライズ②特殊なコード進行を理解、説明出来る

〈講師プロフィール〉日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】

様々な楽曲に触れハーモニー感覚を養う

分析する力を養い、楽曲制作のアイデア・ネタを集める。

授業計画・内容	
1回目	ヒット曲のアナライズ①　ドラムのリズムパターンとベースのコンビネーションを習得
2回目	ヒット曲のアナライズ②　ピアノがメインで演奏させる場合の他のパート演奏について理解、説明出来
3回目	ヒット曲のアナライズ③　ラインクリシェについて理解、説明出来る
4回目	ヒット曲のアナライズ④　転調のある楽曲とピボットコードについて理解、説明出来る
5回目	ヒット曲のアナライズ⑤　代理和音・セカンダリードミナントについて理解、説明出来る
6回目	ヒット曲のアナライズ⑥　ブルージー7thコードについて理解、説明出来る
7回目	中間テスト
8回目	スタンダードソングのメロディーアナライズ①　コードとスケールの関係について、ノンダイアトニックコード□m7でのスケールとメロディーラインを理解、説明出来る
9回目	スタンダードソングのメロディーアナライズ②　コードとスケールの関係について、dim7やaug7でのスケールとメロディーラインを理解、説明出来る
10回目	スタンダードソングのメロディーアナライズ③　コードとスケールの関係について、ドミナントモーションする□7でのスケールとメロディーラインを理解、説明出来る
11回目	スタンダードソングのメロディーアナライズ④　コードとスケールの関係について、ドミナントモーションしない□7でのスケールとメロディーラインを理解、説明出来る
12回目	Bluesの楽曲構成を習得
13回目	Ja z zなどの楽曲構成を習得
14回目	BluesやJa z zなどの楽曲構成を習得
15回目	期末試験
準備学習時間外学習	授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。 授業で習った事を実践してみましょう。
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格 実技テスト（提示された課題に沿って、楽曲制作ができるか）
受講生へのメッセージ	●1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音（保存）しておくようにしましょう。 ●ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。 ●各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。 ●DAW（Re-Tracking）の扱いも勉強しておきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名(英)	ソングライティング (Song writing)	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	野崎　貴潤
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	木曜3限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

トラックアンドフックについて、トラックメイク（コード進行とリズム）、フックライティング（印象的なメロディーをつくる）、編曲の演習を行う

〈講師プロフィール〉日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】

自分の得意とする作曲法の確立と楽曲制作

授業計画・内容	
1回目	有名な作曲家の作品をアナライズ、マックス・マーティン洋楽ヒットソングについて理解、説明出来る
2回目	有名な作曲家の作品をアナライズ、織田哲郎とBメロの大切さを理解、説明出来る
3回目	有名な作曲家の作品をアナライズ、小室哲哉と転調についてのアイデアを理解、説明出来る
4回目	有名な作曲家の作品をアナライズ、アラン・メンケンを理解、説明出来る
5回目	フックライティングを習得
6回目	フックライティングと簡易録音機器について習得
7回目	フックライティングと簡易録音機器について習得
8回目	フックライティング演習
9回目	サビメロ作成からのBメロ作成編曲について理解、説明出来る
10回目	フックライティング演習
11回目	サビメロ作成からのBメロ作成編曲について理解、説明出来る
12回目	エレクトロダンスミュージックを理解、説明出来る
13回目	エレクトロダンスミュージックのアナライズとDAWを使ってのトラックメイクについて理解、説明出来
14回目	エレクトロダンスミュージックのアナライズとDAWを使ってのトラックメイクについて習得
15回目	エレクトロダンスミュージック演習
準備学習時間外学習	授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。 授業で習った事を実践してみましょう。
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格 実技テスト（提示された課題に沿って、楽曲制作ができるか）
受講生へのメッセージ	●1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音（保存）しておくようにしましょう。 ●ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。 ●各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。 ●DAW（Re-Mix）の扱い方も勉強しておきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	サウンドメイキング（Sound Making）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	野崎　貴潤
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	木曜3.4限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
様々なジャンルのアレンジスタイル（楽器構成、フレージング）をMIDI プログラミングの実習を通して学ぶ。Basic アレンジ（リズム、ベース、メインのコード楽器）の重要性を理解し、フレーズの組み立て音のバランス感覚を身に付ける。
〈講師プロフィール〉日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】
楽曲コンペ、企業課題採用レベルのアレンジスキル、MIDIプログラミングスキル習得。

授業計画・内容	
1回目	R&B編 1、Basicアレンジ プログラミング演習
2回目	R&B編 1、上モノアレンジ Track完成／R&B編 2、Basicアレンジ プログラミング演習
3回目	R&B編 2、上モノアレンジ Track完成
4回目	R&B編 3、Basicアレンジ プログラミング演習
5回目	R&B編 3、上モノアレンジ Track完成／R&B編 4、Basicアレンジ プログラミング演習
6回目	R&B編 4、上モノアレンジ Track完成
7回目	実践編 1、Vo素材に対してのアレンジワーク演習（R&B編を踏まえて）
8回目	4つ打ちBeat編 1、Basicアレンジ プログラミング演習
9回目	4つ打ちBeat編 1、上モノアレンジ Track完成／4つ打ちBeat編 2、Basicアレンジ プログラミング演習
10回目	4つ打ちBeat編 2、上モノアレンジ Track完成
11回目	4つ打ちBeat編 3、Basic＆上モノアレンジ Track完成
12回目	4つ打ちBeat編 4、Basic＆上モノアレンジ Track完成
13回目	実践編 2、Vo素材に対してのアレンジワーク演習（4つ打ちBeat編を踏まえて）
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ

準備学習 時間外学習	様々なジャンルの曲を好き嫌いなく、楽器編成、配置、セクション別の変化の付け方等、アレンジに注目して聞き込む。自曲のMIDIプログラミングを面倒臭がらずにキッチリと行う。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	課題　100%
受講生への メッセージ	頭に描いた曲のイメージを具現化する為に必要不可欠なスキルです。楽曲制作の本当の楽しさを知りたければ、真剣に取り組んで下さい。		

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	サウンドメイキング（Sound Making）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	野崎　貴潤
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	木曜3.4限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
様々なジャンルのアレンジスタイル（楽器構成、フレージング）をMIDI プログラミングの実習を通して学ぶ。Basic アレンジ（リズム、ベース、メインのコード楽器）の重要性を理解し、フレーズの組み立て音のバランス感覚を身に付ける。
〈講師プロフィール〉日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】
楽曲コンペ、企業課題採用レベルのアレンジスキル、MIDIプログラミングスキル習得。

授業計画・内容	
1回目	Basicアレンジ演習
2回目	Funky Groove 1 Track 完成/Basicアレンジ演習
3回目	Funky Groove 2 Track 完成
4回目	Basicアレンジ演習
5回目	Funky Groove 3 Track 完成/Vo素材に対してのアレンジワーク
6回目	Vo素材に対してのアレンジワーク（Funky Groove編を踏まえて）
7回目	Basicアレンジ演習
8回目	Rock 1 Track 完成
9回目	Basicアレンジ演習
10回目	Rock 2 Track 完成
11回目	Basicアレンジ演習
12回目	Pop Track 完成
13回目	Vo素材に対してのアレンジワーク（Rock、Pop編を踏まえて）
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ

準備学習 時間外学習	様々なジャンルの曲を好き嫌いなく、楽器編成、配置、セクション別の変化の付け方等、アレンジに注目して聞き込む。自曲のMIDIプログラミングを面倒臭がらずにキッチリと行う。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	課題　100%
受講生への メッセージ	頭に描いた曲のイメージを具現化する為に必要不可欠なスキルです。楽曲制作の本当の楽しさを知りたければ、真剣に取り組んで下さい。		

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	コンポジションプロジェクト（Composition Project）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	井上　直
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	講義または演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	月曜5,6限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

コンセプトワークからコンポーズ・アレンジ、ブッキング・レコーディング・ディレクション・マスタリング・パッケージ・納品・コンテンツ作成まで各々が現場に立ち、プロデュースを行う。本授業を通し、グループワークと柔軟性を習得する。近年のクリエイターの活動傾向を鑑みて、楽曲・志向・活動等を具体的且つ視覚的にデザインし、“アピール”するというマインドを習得する。

※実務者経験：株式会社ポニーキャニオン所属　主業務はマニピュレーター＆キーボード、作曲、編曲をはじめ、レコーディングからディレクション、マスタリング、オーサリングまで担当。

【到達目標】

◆コンセプト・プロット・企画書完成、作曲・アレンジに取りかかり、コンテンツ完成までの50%以上が完了。
◆流行のコンテンツサービスをはじめ、音楽・動画配信の定義と仕組み説明ができるようになる。
◆著作物を扱うリテラシーを習得する。
◆本授業通して自身の活動スタイルに合わせたコンテンツを発見する。

授業計画・内容	
1回目	【オリエンテーション】卒業制作のレギュレーションとフローの説明、目標設定発表、グループ決め、スケジュール表を制作する
2回目	【講義】CDのメリットデメリット、配信のメリットデメリット、また情報を発信できるサイトやツール・SNSの紹介・特色を分析出来る
3回目	【コンセプトワーク】アルバムを制作するにあたり、コンセプトを明確に表記した企画書の作成が出来る
4回目	【コンセプトワーク2】企画書、スケジュール表を提出(企画書スケジュールのリテイクあり）企画の通ったグループから作品制作演習を行う
5回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う
6回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※企画書提出〆切
7回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
8回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
9回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
10回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
11回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
12回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
13回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
14回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
15回目	【OC(質問事項に対しての講義)】スケジュールと制作演習を行う、現地点での制作楽曲のプレゼンが出来る

準備学習 時間外学習	授業だけではまかないきれないので、時間外の制作がほとんどになると思います。 たくさん曲を制作することになりますので、自分の表現したいイメージを十分に膨らませておいてください。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断） 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価）
受講生への メッセージ	NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。 音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。 全力を尽くして作品創作に臨みましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】

プロットを作成するシーンが多いため、必ず専用のノートと筆記用具を持参。
(シャープペンシルや鉛筆など、消すことが可能なステーショナリー推奨)
必要に応じて保存メディア・個人ストレージを用意

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	コンポジションプロジェクト（Composition Project）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	井上　直
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	講義または演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	月曜5,6限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

コンセプトワークからコンポーズ・アレンジ、ブッキング・レコーディング・ディレクション・マスタリング・パッケージ・納品・コンテンツ作成まで各々が現場に立ち、プロデュースを行う。本授業を通し、グループワークと柔軟性を習得する。近年のクリエイターの活動傾向を鑑みて、楽曲・志向・活動等を具体的且つ視覚的にデザインし、“アピール”するというマインドを習得する。

※実務者経験：株式会社ポニーキャニオン所属　主業務はマニピュレーター＆キーボード、作曲、編曲をはじめ、レコーディングからディレクション、マスタリング、オーサリングまで担当。

【到達目標】

◆コンセプト・プロット・企画書完成、作曲・アレンジに取りかかり、コンテンツ完成までの50%以上が完了。
◆流行のコンテンツサービスをはじめ、音楽・動画配信の定義と仕組み説明ができるようになる。
◆著作物を扱うリテラシーを習得する。
◆本授業通して自身の活動スタイルに合わせたコンテンツを発見する。

授業計画・内容	
1回目	【コンセプトワーク】アルバム制作のスケジュール確認
2回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
3回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
4回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
5回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
6回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
7回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
8回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
9回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
10回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
11回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
12回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
13回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
14回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
15回目	【制作演習】CDアルバム制作、楽曲のプレゼンが出来る

準備学習 時間外学習	授業だけではまかないきれないので、時間外の制作がほとんどになると思います。 たくさん曲を制作することになりますので、自分の表現したいイメージを十分に膨らませておいてください。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)
受講生への メッセージ	NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。 音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。 全力を尽くして作品創作に臨みましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】

プロットを作成するシーンが多いため、必ず専用のノートと筆記用具を持参。
(シャープペンシルや鉛筆など、消すことが可能なステーショナリー推奨)
必要に応じて保存メディア・個人ストレージを用意

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ダンス&ヴォーカル（Dance&Vocal）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	西野　恭平
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	木曜日3限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。＊実務経験(Dance & Vocal)：WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館　EX SHOW2017出演（2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。）

【到達目標】
ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。

授業計画・内容	
1回目	個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックの知識を身につけることができる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる(アイソレーション、ヒット、ウォークアウト)
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
6回目	簡単な動きの中で、自分が良く見える姿勢、ポーズ、シルエットを研究し歌唱パフォーマンスができるようになる
7回目	ステップ、ポーズのバリエーションを増やし、歌唱パフォーマンスができるようになる
8回目	簡単なステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
9回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(アイソレーション、ポップ、サイドスライド)
10回目	振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスができるようになる
11回目	振り付けの中で自分の見せ場がどこか検証し、歌唱パフォーマンスできるようになる
12回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
13回目	自分で付けた振り付けをさらに良くするためにどうしたらいいか検証し、歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度（40%） 2. 実地試験（60%）
受講生へのメッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせてください。一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
iPad(カラオケ音源）
ワイヤレスマイク
ダミーマイク

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ダンス&ヴォーカル（Dance&Vocal）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	西野　恭平
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	木曜日4限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。＊実務経験(Dance & Vocal)：WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」 BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館　EX SHOW2017出演（2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。）

【到達目標】
ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。

授業計画・内容	
1回目	歌唱時のフォームを意識することが出来るようになる
2回目	リズムを意識した歌唱パフォーマンスが出来るようになる
3回目	リズム＋グルーブを意識した歌唱パフォーマンスが出来るようになる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
5回目	共鳴についての知識を身につけることができる
6回目	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが出来るようになる
7回目	歌唱パフォーマンス時の体のバランスを整える知識を身につけることができる
8回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
9回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンス（前期よりクオリティの高い）を考えることができる
10回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンス（前期よりクオリティの高い）を行うことができる
11回目	自分で付けた振り付けをさらに良くするためにどうしたらいいか検証し、 前期よりクオリティの高い歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
12回目	歌唱パフォーマンスのクオリティを高めることができる
13回目	自分の振り付け、歌唱パフォーマンスを見直し、隙のないパフォーマンスができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度（40%） 2. 実地試験（60%）
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせてください。一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
iPad(カラオケ音源）
ワイヤレスマイク
ダミーマイク

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ダンス&ヴォーカル（Dance&Vocal）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	西野　恭平
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	金曜日1限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。＊実務経験(Dance & Vocal):WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館　EX SHOW2017出演（2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。）

【到達目標】
ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。

授業計画・内容	
1回目	2年次の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が自分で理解し出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックのレパートリーを増やしパフォーマンスができるようになる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	1年次よりレベルをあげたステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
8回目	振り付けに合わせて、どんな歌唱パフォーマンスがあるか検証し、歌唱パフォーマンスができるようになる
9回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンスを考えることができる
10回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる
11回目	事前に選択した曲1コーラスヴォーカルパフォーマンスができるようになる
12回目	歌唱パフォーマンスのクオリティを高めることができるようになる
13回目	自分の振り付け、歌唱パフォーマンスを見直し、クオリティーの高いパフォーマンスができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度（40%） 2. 実地試験（60%）
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせてください。一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
iPad(カラオケ音源）
ワイヤレスマイク
ダミーマイク

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ダンス&ヴォーカル（Dance&Vocal）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	西野　恭平
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	金曜日2限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。＊実務経験(Dance & Vocal):WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」 BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館　EX SHOW2017出演（2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。）

【到達目標】
ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。

授業計画・内容	
1回目	卒業まで、卒業後の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックを知ることができる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる1(アイソレーション、ヒット、ウォークアウト)
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	簡単なステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	昨今のミュージックシーンに、多大な影響を与えているダンスジャンルPOPPINGの基礎を身につけることができる
8回目	アイソレーション、ポップ、サイドスライドを身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
9回目	ストレッチ、振り付け8X4を身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
10回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げるヴォーカルが引き立つ演出を中心に制作することができる
11回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げスキルアップをすることができる
12回目	服装、角度、ポーズ、パフォーマンスを様々なバリエーションでパフォーマンスが出来るようになる
13回目	改善点を見つけ、どのようにすると良くなるか反復練習し、クオリティの高い歌唱パフォーマンスが出来るようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度（40%） 2. 実地試験（60%）
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせてください。一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
iPad(カラオケ音源）
ワイヤレスマイク
ダミーマイク

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	照明デザイン（Lighting design）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	清水 正典
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	木曜5,6限

【授業の学習内容】
照明スタッフとして必要な基礎的な知識と技術を習得します。
※デライト株式会社 （照明会社）所属。約30年照明担当として従事している。

【到達目標】
照明の仕事に必要な理論や照明デザインをするための基礎的な知識を学び、演習やイベントでの実践に活かせるようになる。

授業計画・内容	
1回目	授業内容の説明、機材説明　舞台機構
2回目	機材説明、ケーブルコネクターの説明　巻き方　色について　LHQでの色の混ざり方を学ぶ
3回目	仕込み演習Ⅰ　簡単な仕込み図の見方　書き方　調光卓の操作について学ぶ
4回目	仕込み図の作成　調光卓/PINSPOTの操作について学ぶ
5回目	照明仕込み 照明シュートについて　調光卓の操作について学ぶ
6回目	照明仕込み 照明シュートについて　調光卓の操作について学ぶ
7回目	サオによる照明シュートについて学ぶ
8回目	学園祭に向けての準備。仕込み図、機材選定を行う。
9回目	学園祭での役割と反省点
10回目	ホール演習準備　役割分担
11回目	ホール演習準備　仕込み図、機材リストの確認
12回目	ホール演習　港文化小劇場　ホール説明　照明設備説明　前明かりのシュート
13回目	仕込み演習　劇場での仕込み時の動きについて学ぶ
14回目	仕込み演習　劇場での仕込み時の動きについて学ぶ
15回目	ミュージカルの舞台製作の振り返り。
準備学習 時間外学習	
評価方法	実技、授業態度などを評価
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	照明デザイン（Lighting design）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	清水 正典
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	木曜5,6限

【授業の学習内容】
照明スタッフとして必要な基礎的な知識と技術を習得します。
※デライト株式会社（照明会社）所属。約30年照明担当として従事している。

【到達目標】
照明の仕事に必要な理論や照明デザインをするための基礎的な知識を学び、演習やイベントでの実践に活かせるようになる。

授業計画・内容	
1回目	前期の復習
2回目	仕込み図の作成に伴い必要な要素を学ぶ。電源、灯体、回線図など
3回目	仕込み図を作成する。
4回目	仕込み図を作成する。
5回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
6回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
7回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
8回目	ホール演習に向けての準備。役割分担
9回目	ホール演習に向けての準備。仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
10回目	ホール演習に向けての準備。仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
11回目	ホール演習　瑞穂文化小劇場　劇場でのオペレートを行う。
12回目	ホール演習　振り返り
13回目	卒業進級展に向けて役割分担。
14回目	卒業進級展に向けて仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
15回目	卒業進級展に向けて仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
準備学習時間外学習	
評価方法	実技、授業態度などを評価
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ヒップホップ（HIPHOP）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	安形 学
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	火曜日2限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
音表現のメカニズム、リズムとタイミングとニュアンス、グルーヴとノリの出し方、身体の動かし方、どのパーツをどのような状態でどのように動かすかを身につけることができる。
※実務者経験：ダンサー、振付、脚本、演出、MC、ジャッジ、お笑いなど幅広く活動している。2012～2014年、フロリダディズニーワールドの世界大会日本代表チーム振付三年連続金メダル。ダンスダイナマイトジャッジ、USAナショナルズファイナルジャッジ、Legend Tokyo Chapter.1 振付師に選抜される。1999年、ニューヨーク留学。ダンスダイナマイト優勝。『スーパーチャンプル』TV出演。

【到達目標】
①身体の動かし方　②音表現　③ダンスの構造　を理解する。踊る時の考え方、感じ方を習得することができる。

授業計画・内容	
1回目	ダンスに対するガイダンス＆オリエンテーション・音を知ることができるようになる
2回目	音を知る、音を作る（リズム・グルーヴ）8・16・32ビート、表と裏、UP、DOWN、SIDE、前後斜めのノリ、グルーヴをつくるには、ループからの裏切り、タイミング、テンポを身につけることができる
3回目	ボディーコントロール、自然の力／胸、腰、首、肩のアイソレーション、連動、パワーのON・OFF、慣性の法則、遠心力、浮力、動、反発力、張力を身につけることができる
4回目	音を作る、音質、ニュアンス／アクセント、強、クイック、ストップ、カウンターパワー、スローパワー、スピードorパワークイック→ストップ・クイック→スロー→ストップができるようになる
5回目	音を作る、重さ、ノーカウント／スピード→一定のスピードをキープする。足首の使い方、視覚→動き方を残像にすることができるようになる
6回目	精神、右脳を使う／思考⇔感じる、内部と外部のイメージ　イメージ→表現、形を音に合わせる、感覚を音に合わせてフリースタイル、インプロ、コア、核、ボディコントロール、クリエイト、マインドコントロールを身につけることができる
7回目	グルーヴトレーニング／パーカッションの練習、パーツチョイスができるようになる
8回目	重さトレーニング／スピード、タイミング、視覚的、三種の視点からトレーニングができるようになる
9回目	フリースタイル／音に何を合わせるのか？を身につけることができる。
10回目	フリースタイル／感覚、動き、形、イメージ、感情、パワー、筋肉収縮ストレッチを身につけることができる
11回目	教え方をマスターする／形、動き、音、イメージを説明できる。
12回目	教え方をマスターする／感覚、コツ、メカニズムを説明できる。
13回目	メインムーヴ＋サブムーブ＝振付ができるようになる。
14回目	総合／音、身体、精神で必要な技術をルーティンでできるようになる。
15回目	テスト／授業の中から大切な要素を抜粋してテストを行う
準備学習時間外学習	音と身体と精神の3つの項目を理解しておく
評価方法	1. 定期試験（30%） 2. 課題成果（40%） 3. 出席率（30%）
受講生へのメッセージ	音表現を身体でするのがダンス 身体を動かす時にスピードとパワーとイメージを大切にする。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ヒップホップ（HIPHOP）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	安形 学
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	火曜日3限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
音表現のメカニズム、リズムとタイミングとニュアンス、グルーヴとノリの出し方、身体の動かし方、どのパーツをどのような状態でどのように動かすかを身につけることができる。
※実務者経験：ダンサー、振付、脚本、演出、MC、ジャッジ、お笑いなど幅広く活動している。2012～2014年、フロリダディズニーワールドの世界大会日本代表チーム振付三年連続金メダル。ダンスダイナマイトジャッジ、USAナショナルズファイナルジャッジ、Legend Tokyo Chapter.1 振付師に選抜される。1999年、ニューヨーク留学。ダンスダイナマイト優勝。『スーパーチャンプル』TV出演。

【到達目標】
①身体の動かし方　②音表現　③ダンスの構造　を理解する。踊る時の考え方、感じ方を身につけることができる。

授業計画・内容	
1回目	2人組での組み系、操作系、ペアダンスなどのバリエーション、見せ方を身につけることができる
2回目	2人組での組み系、操作系、ペアダンスなどのバリエーション、見せ方、パズルのような思考を身につけることができる
3回目	組み系、操作系、ペアダンスを自身で創作することができるようになる
4回目	組み系、操作系、ペアダンスを自身で創作することができるようになる
5回目	身体の中身だけではなく、外部を意識したダンスを身につけることができる
6回目	外部を表現することにより、空間を利用し大きな見せ方を身につけることができる
7回目	小道具を使ってエンターテイメント性を高めることができるようになる。
8回目	小道具を使用し、自分以外のコントロールをすることができるようになる。（スティック・タオル・バンダナ・ボール・ロープ・服・ペットボトル・ステッキ・椅子 etc…）
9回目	小道具を使用し、自分以外のコントロールをすることができるようになる。（スティック・タオル・バンダナ・ボール・ロープ・服・ペットボトル・ステッキ・椅子 etc…）
10回目	リズムを作り出す為、両手によりリズムを出してセッションすることができるようになる。
11回目	作品創りのノウハウ、音の構成と作品の構成、6人チーム×5による創作
12回目	作品創りのノウハウを身につけることができる
13回目	音の構成と作品の構成の説明ができる
14回目	学生による創作と発表をし、評価をすることができるようになる
15回目	テスト／授業の中から大切な要素を抜粋してテストを行う
準備学習時間外学習	音と身体と精神の3つの項目を理解しておく
評価方法	1. 定期試験（30%） 2. 課題成果（40%） 3. 出席率（30%）
受講生へのメッセージ	音表現を身体でするのがダンス 身体を動かす時にスピードとパワーとイメージを大切にする。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ヒップホップ（HIPHOP）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	安形 学
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	水曜日2限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
プロとして指揮するために必要な作品作りや揃え方、ダンスの技術を知って作品を評価できる。
※実務者経験：ダンサー、振付、脚本、演出、MC、ジャッジ、お笑いなど幅広く活動している。2012～2014年、フロリダディズニーワールドの世界大会日本代表チーム振付三年連続金メダル。ダンスダイナマイトジャッジ、USAナショナルズファイナルジャッジ、Legend Tokyo Chapter.1 振付師に選抜される。 1999年、ニューヨーク留学。ダンスダイナマイト優勝。『スーパーチャンプル』TV出演。

【到達目標】
教え方、作品の創り方をマスターすることができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	重さ、音にのる／ダンスを楽しむ、考え方を再確認、ルーティーン、技術を身につけることができる
2回目	フリースタイルでの考え方／何を音に合わせるのか、ルーティーン、技術を身につけることができる
3回目	揃える／揃える為にする事、何を揃えるか、形、動き、ベクトル、スピード、ニュアンス、アクセント、気持ち、テンション、イメージ、何をどの方向に、どのようにするかを説明できる
4回目	音に感覚を合わせる／力、収縮、ストレッチ、脱力、振動、イメージ、遠心力、フィーリングダンス、音表現を身につけることができる
5回目	作品制作・3D／3Dに見せる方法、High＆Low、回転、移動、音の構成、リズム作り、ボディパーカッション、作品の構成ができるようになる
6回目	作品制作・3D／ユニゾン、シンメ、ソロ、パート、ジャンル、グルーヴ、音質、テンション、クール、表現方法を身につけることができる
7回目	作品制作・3D／フォーメーション、移動、High＆Low、雰囲気、ロール、アトオン、2人組で踊ることを身につけることができる
8回目	ジャッジトレーニング／振付、ダンサー、ジャッジの3組に分かれ学生による振付作品を学生がジャッジしコンテストを実施できるようになる
9回目	ジャッジトレーニング／ジャッジの項目を作品創りに活かすことができるようになる
10回目	ジャッジトレーニング／ジャッジの項目を理解し説明できるようになる
11回目	ジャッジトレーニング／ダンスの技術、上手さが何なのかを理解できるようになる
12回目	ジャッジトレーニング／ダンスの動きについて説明することができる
13回目	ジャッジトレーニング／レベルアップに活かすことができるようになる
14回目	ジャッジトレーニング／ダンスの技術、上手さが何なのかを理解することにより技術点の高い作品を創作できるようになる
15回目	テスト／技術を動視したダンスを作成し発表
準備学習時間外学習	音と身体と精神の3つの項目を理解しておく
評価方法	1. 定期試験（30%） 2. 課題成果（40%） 3. 出席率（30%）
受講生へのメッセージ	ダンサーとして踊る事のレベルアップだけではなく、創り手としての作品の創り方と伝え方、指導方法を習得する。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ヒップホップ（HIPHOP）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	安形 学
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	水曜日3限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
プロとして指揮するために必要な作品作りや揃え方、ダンスの技術を知って作品を評価できる。
※実務者経験：ダンサー、振付、脚本、演出、MC、ジャッジ、お笑いなど幅広く活動している。2012～2014年、フロリダディズニーワールドの世界大会日本代表チーム振付三年連続金メダル。ダンスダイナマイトジャッジ、USAナショナルズファイナルジャッジ、Legend Tokyo Chapter.1 振付師に選抜される。1999年、ニューヨーク留学。ダンスダイナマイト優勝。『スーパーチャンプル』TV出演。

【到達目標】
教え方、作品の創り方、自分自身以外をコントロールする、揃え方をマスターすることができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	学生がインストラクターになり、レッスンを進め、その内容を評価することができる
2回目	インストラクターとしての指導ノウハウとして、形 ・動き ・音 ・イメージ ・感覚 ・メカニズムを考えレッスンを行うことができるようになる
3回目	インストラクターとしてのレッスンの流れや指導方法、喋り方を身につけることができる
4回目	ダンステクニックの収縮 ・ストレッチ ・脱力 ・気力を身につけることができる
5回目	ダンステクニックの ・振動 ・イメージ ・遠心力の感覚をつかみ身につけることができる
6回目	右脳を使ってイメージ力をUPすることを身につけることができる
7回目	右脳の特性を理解し、音のイメージを身体で表現することができるようになる
8回目	右脳開発。作品の流れを構成し、具体的な動きを創ることができるようになる
9回目	これまでに学んだダンスに必要な要素を取り入れ、大切にし、振付をすることができるようになる
10回目	これまでに学んだあらゆるカテゴリーを意識してダンスをすることができるようになる
11回目	踊る ・仕切る ・創る ダンスに関わる仕事の種類と適性を説明できる
12回目	教える ・従う ・創る ダンスに関わる仕事の種類と適性を説明できる
13回目	学生による創作と発表をし、評価をすることができるようになる
14回目	学生による創作と発表をし、評価に基づき迅速に修正をすることができるようになる
15回目	テスト／学んだダンスに必要な要素を取り入れ、自身で振付をしたダンスを発表
準備学習時間外学習	音と身体と精神の3つの項目を理解しておく
評価方法	1. 定期試験（30%） 2. 課題成果（40%） 3. 出席率（30%）
受講生へのメッセージ	ダンサーとして踊る事のレベルアップだけではなく、創り手としての作品の創り方と伝え方、指導方法を習得することができる。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ジャズ（JAZZ）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	原　佳宏
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	金曜日1限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
柔軟性、筋力、リズム感を高めるトレーニングをしながら、踊る事、人前に立つ、パフォーマンスすることが出来る様にする。
※実務者経験：1999年、劇団ひまわり入団。JAZZ DANCE、HIPHOP DANCEに興味を持ちレッスンを受け始める。劇団ひまわり退団後「サンスーシーHSDダンススタジオ」杉田裕美氏にJAZZ DANCEを、劇団『NEO企画』菊本健郎氏に演技をそれぞれ師事。数多くの舞台に立ちながら豊田のスポーツクラブやNEO企画にてレッスンを勤める。

【到達目標】
身体能力の向上と動く事、人前に立つなど、苦手意識の払拭。
ダンススキルの向上。パフォーマーとしての意識の確立。

授業計画・内容	
1回目	柔軟と筋トレトレーニングの方法を覚え、出来るようになる
2回目	ジャズスキル、シェネ、ピルエットを覚え回る事に慣れ、出来るようになる①
3回目	ジャズスキル、シェネ、ピルエットを覚え回る事に慣れ、出来るようになる②
4回目	足を高く上げる練習（バットマン）を行い出来るようになる①
5回目	足を高く上げる練習（バットマン）を行い出来るようになる②
6回目	ダウン、アップやアイソレーションを行い、リズム感を養うことが出来る①
7回目	ダウン、アップやアイソレーションを行い、リズム感を養うことが出来る②
8回目	振付を正確に覚え、目線が下がらない様に練習し出来るようになる
9回目	重心移動を上手に使い、大きく踊れる様になる
10回目	体の面をしっかり動かす様に練習し出来るようになる
11回目	表情にも意識を払いながら、ただ踊る⇒パフォーマンスするに昇華させることが出来る
12回目	全員でもピッタリ揃って踊れる様にする。そうする為にはどうすれば実現できるか考え出来るようになる
13回目	鏡を見ずに他の人を見ないで、1人でも堂々と踊れる様になる
14回目	課題の振りを踊るテストを行う
15回目	前期の復習を行う
準備学習 時間外学習	時間外でも筋肉トレーニングや柔軟を行い、自分の体を作る事を心がける。 与えられた振付や授業の中で学んだテクニックなどを復習し、しっかりと習得できる様にする。
評価方法	1．定期試験（80%） 2．授業態度（20%）
受講生へのメッセージ	それぞれのスピードで大丈夫なので、まず昨日の自分に負けない様、着実に一歩一歩スキルアップしていきましょう。 体を動かす、踊る事を楽しむ気持ちも忘れずに。

【使用教科書・教材・参考書】
レッスン着・タオル・シューズ
水分補給できるもの

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ジャズ（JAZZ）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	原 佳宏
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	金曜日2限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
基礎トレーニング、クロスフロアを行いながら、基礎テクニックを習得。
踊る事に慣れさせながら、踊りのノウハウを理解し、正しく体が使えるようにする。
※実務者経験：1999年、劇団ひまわり入団。JAZZ DANCE、HIPHOP DANCEに興味を持ちレッスンを受け始める。劇団ひまわり退団後「サンスーシーHSDダンススタジオ」杉田裕美氏にJAZZ DANCEを、劇団『NEO企画』菊本健郎氏に演技をそれぞれ師事。数多くの舞台に立ちながら豊田のスポーツクラブやNEO企画にてレッスンを勤める。

【到達目標】
オーディションなどによくあるクロスフロアをしっかりとこなせる様になる。
基礎テクニックのやり方を理解し、それをしっかり踊りの中で活かせる様にする。

授業計画・内容	
1回目	ターンアウトとシェネ、パドブレ、ステップ、シャッセの習得する
2回目	パラレルとピルエットの習得する
3回目	バットマンの習得する
4回目	リリース、コントラクションとタンジュ、プリエの練習を行い出来るようになる
5回目	テクニックの組み合わせ、それぞれのテクニックを正確に繋げられる様にする
6回目	ピケターンを習得する
7回目	シャッセジャンプを習得する
8回目	ソデバスクを習得する
9回目	シェネジュッテを習得する
10回目	各テクニックの総ざらいとブラッシュアップを行い出来るようになる①
11回目	各テクニックの総ざらいとブラッシュアップを行い出来るようになる②
12回目	各テクニックの総ざらいとブラッシュアップを行い出来るようになる③
13回目	課題の振りを踊るテストを行う
14回目	課題の振りを踊るテストを行う
15回目	後期の復習を行う
準備学習 時間外学習	時間外でも筋肉トレーニングや柔軟を行いながら、与えられた振付や授業の中で学んだテクニックなどを復習し、しっかりと習得できる様にする。
評価方法	①定期試験（80%） ②授業態度（20%）
受講生へのメッセージ	それぞれのスピードで大丈夫なので、まず昨日の自分に負けない様、着実に一歩一歩スキルアップしていきましょう。 体を動かす、踊る事を楽しむ気持ちも忘れずに。

【使用教科書・教材・参考書】
レッスン着・タオル・シューズ
水分補給できるもの

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ジャズ（JAZZ）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	原 佳宏
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	水曜日1限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
基礎トレーニング、クロスフロアーを行いながら、振りではどう踊り、体をどう使えばどう見えるか、主観的にだけではなく、客観的に見る習慣をつけ、動きの中で意識出来る.点を増やしていく
※実務者経験：1999年、劇団ひまわり入団。JAZZ DANCE、HIPHOP DANCEに興味を持ちレッスンを受け始める。劇団ひまわり退団後「サンスーシーHSDダンススタジオ」杉田裕美氏にJAZZ DANCEを、劇団『NEO企画』菊本健郎氏に演技をそれぞれ師事。数多くの舞台に立ちながら豊田のスポーツクラブやNEO企画にてレッスンを勤める。

【到達目標】
基礎的な知識、柔軟性、筋力、リズム感などを養いながら、クロスフロアーをしっかりと出来るようにして、JAZZ特有のしなやかでメリハリのある動きを目指す。

授業計画・内容	
1回目	柔軟と筋トレ方法、ジャズの基本用語を覚え理解する
2回目	シェネの習得とともに、スポットや注意点を把握する
3回目	ピルエットの習得とともにバレエのピルエットとの違いを把握する①
4回目	ピルエットの習得とともにバレエのピルエットとの違いを把握する②
5回目	バットマンとピケターンの習得。リリースとコントラクションが出来るようになる①
6回目	バットマンとピケターンの習得。リリースとコントラクションが出来るようになる②
7回目	テクニックの組み合わせ、それぞれのテクニックに磨きをかけ、繋げられるようになる①
8回目	テクニックの組み合わせ、それぞれのテクニックに磨きをかけ、繋げられるようになる②
9回目	振付を正確に覚え、目線や重心をコントロールが出来るようになる
10回目	動きの流れを掴み、周りの人とピッタリ揃って動けるようなる
11回目	ソデバスクやシェネジュッテなどのジャンプテクニックの習得する
12回目	踊りにしっかり緩急をつけられるようになる
13回目	パフォーマンスする意識を持ち表情に至るまで考えて踊ることが出来るようになる
14回目	課題の振りを踊るテストを行う
15回目	前期の復習を行う
準備学習 時間外学習	時間外でも筋力トレーニングや柔軟を行い、与えられた振付や授業の中で学んだテクニックなどを復習し、しっかりと習得できるようにする
評価方法	①定期試験（80%） ②授業態度（20%）
受講生へのメッセージ	自分がやりたいジャンル、そうでないジャンルと好みはあると思いますが、せっかく色々なジャンルを学べる機会なので、貪欲に好き嫌いせず、どんどん吸収していってください。

【使用教科書・教材・参考書】
レッスン着・タオル・シューズ
水分補給できるもの

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ジャズ（JAZZ）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	原 佳宏
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	水曜日2限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
基礎トレーニング、基礎テクニックの練習を主体に、踊り方の面でも高い表現力を身に付ける為に、目線、重心、表情、緩急、色々な所に注意しながら繰り返し練習し身につける。
※実務者経験：1999年、劇団ひまわり入団。JAZZ DANCE、HIPHOP DANCEに興味を持ちレッスンを受け始める。劇団ひまわり退団後「サンスーシーHSDダンススタジオ」杉田裕美氏にJAZZ DANCEを、劇団『NEO企画』菊本健郎氏に演技をそれぞれ師事。数多くの舞台に立ちながら豊田のスポーツクラブやNEO企画にてレッスンを勤める。

【到達目標】
プロフェッショナルとしての意識と知識を持たせ、様々な場面で活躍できる様にJAZZダンスのテクニックをしっかり習得し、説明ができるところまでいかせる。

授業計画・内容	
1回目	シェネを習得し、説明できる様にする
2回目	ピルエットを習得し、説明できる様にする
3回目	ピケターンを習得し、説明できる様にする
4回目	バットマン、ソデバスクの復習と習得する
5回目	ダウン、アップや簡単なステップやリズム取りを正確に取れる様にする①
6回目	ダウン、アップや簡単なステップやリズム取りを正確に取れる様にする②
7回目	シェネジュッテの習得、流れの中で不要な動きを無くしていく（振付）
8回目	アクセルターンの習得とスポット強化①
9回目	アクセルターンの習得とスポット強化②
10回目	シェネジュッテで体を倒せる様にして、そのままフロアに入れる様にする
11回目	エアプレーンの習得、フロアからの蹴りあがりの練習と習得する①
12回目	エアプレーンの習得、フロアからの蹴りあがりの練習と習得する②
13回目	他の人の背中を転がる練習、フロア両足を開いて倒立し、その後足を滑り込ませる練習を行う
14回目	課題の振付を踊るテスト
15回目	後期の復習を行う
準備学習 時間外学習	時間外でも筋肉トレーニングや柔軟を行い、自分の体を作る事を心がける。 与えられた振付や授業の中で学んだテクニックなどを復習し、しっかりと習得できる様にする。
評価方法	①定期試験（80%） ②授業態度（20%）
受講生への メッセージ	あと1年！！1分1秒を大切にして吸収できる物は全部吸収してください。 あと社交性も大切に！！そして今一緒に頑張っている仲間を大切に。

【使用教科書・教材・参考書】
レッスン着・タオル・シューズ
水分補給できるもの

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	HOUSE（HOUSE）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	早川 昌貴
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	火曜日3限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
HOUSEの技術だけでなく、自分の体を知り、表現の仕方を学ぶことができる。
※HOUSEを軸にHIPHOP、TAP、Be Bopなどさまざまなジャンルをしている。
三重・愛知・大阪などで活動し、アーティストのバックダンサーやPV出演、コンテストへの出場、クラブイベントや舞台、振付など、ジャンル問わず幅広く活動している。

【到達目標】
全てのジャンルに活かせる体幹を身につけることができる。

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、目標を声にだ出して自分の意識を高めることができる
2回目	HOUSEだけでなく、ダンスに使う基礎を習得することができる
3回目	アイソレーション、筋肉トレーニング、ステップを身につけることができる
4回目	アイソレーション、体幹トレーニング、ステップを身につけることができる
5回目	筋肉・体幹トレーニング、色んなステップを使った応用を習得することができる
6回目	色んなステップを使って、アクセントを付け、体で表現することができるようになる
7回目	ここまでやったステップを使って、振付、構成を作ることができるようになる
8回目	基礎のステップを使ってストーキングという練習方法で即興をし、表現をすることができる
9回目	各トレーニングをし、ストーキング、振付を行い、説明することができる
10回目	各トレーニングのち、ストーキング。HOUSEのステップを取り入れ振付ができるようになる
11回目	各トレーニングのち、ストーキング。HOUSEだけではなく、HIPHOPを混ぜた振付ができるようになる
12回目	基礎を1段階上げて体の意識を変える方法を身につけることができる
13回目	基礎を2段階上げて体の意識を変える方法を身につけることができる
14回目	基礎を3段階上げて体の意識を変える方法を身につけることができる
15回目	今までのステップの見直し。振付を行い各自課題、意識を再確認することができる
準備学習時間外学習	授業でやった事を次回までにしっかり練習してくる
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 課題成果（30%） 3. 実地試験（20%）
受講生へのメッセージ	1つ1つの動きに意味があるので、自分には必要ないと決めつけず、全てのことを意識して取り組みましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	HOUSE（HOUSE）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	早川 昌貴
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	火曜日4限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
HOUSEの技術だけでなく、自分の体を知り、表現の仕方を学ぶことができる。
※HOUSEを軸にHIPHOP、TAP、Be Bopなどさまざまなジャンルをしている。
三重・愛知・大阪などで活動し、アーティストのバックダンサーやPV出演、コンテストへの出場、クラブイベントや舞台、振付など、ジャンル問わず幅広く活動している。

【到達目標】
全てのジャンルに活かせる体幹を身につける

授業計画・内容	
1回目	前期で学習した内容の理解度を確認する為テストを実施
2回目	テストでの課題を見直し再度注意点を意識して踊る
3回目	今までの動きにグルーヴを入れ、動きに幅をつけることができるようになる
4回目	軸を意識し、基礎の型に変化をつけることができるようになる
5回目	軸を意識し、基礎の型に変化とグルーヴをつけることができるようになる
6回目	軸を意識し変化をつけながらグルーヴを出し、表現方法の幅を広げることを習得することができる
7回目	軸を意識し変化をつけながらグルーヴを出し、表現方法の幅を広げることを習得することができる
8回目	フロアの動きを多く取り入れた振付を習得することができる
9回目	難易度の高いフロアの動きを取り入れ、身体のコントロールの方法を習得することができる
10回目	難易度の高いフロアの動きを取り入れ、体重移動の方法を身につけることができる
11回目	ストーキングという練習法で自由に表現することができるようになる
12回目	覚えた動きを自由に組み替えて振付をすることができるようになる
13回目	自由に組み替えた振付を皆で覚えて共有し、説明することができる
14回目	自由に組み替えた振付を皆で覚えて共有し、構成をつけて発表することができる
15回目	1年間学んだ内容を取り入れ自作で振付をしテストを実施する
準備学習時間外学習	授業でやった事を次回までにしっかり練習してくる
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 課題成果（30%） 3. 実地試験（20%）
受講生へのメッセージ	1つ1つの動きに意味があるので、自分には必要ないと決めつけず、すべての動きを意識して活かせるように頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	HOUSE（HOUSE）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	早川 昌貴
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	火曜日5限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
技術、精神面はもちろん、表現力、考える力を身につけることができる。
※HOUSEを軸にHIPHOP、TAP、Be Bopなどさまざまなジャンルをしている。
三重・愛知・大阪などで活動し、アーティストのバックダンサーやPV出演、コンテストへの出場、クラブイベントや舞台、振付など、ジャンル問わず幅広く活動している。

【到達目標】
全てのジャンルに活かせるリズム、グルーヴ、体幹を身につけることができる。

授業計画・内容	
1回目	先輩として、上に立つ人間としてのあり方や、目標を声に出して意識を高めることができるようになる
2回目	1年次に習得した内容の理解度を確認しながら基礎のレベルチェックを行う
3回目	基礎に1つ足していき、応用力を身につけることができる。同時に体を意識し、体幹を作る。
4回目	基礎に2つ足していき、応用力を身につけることができる。同時に体を意識し、体幹を作る。
5回目	基礎に3つ足していき、応用力を身につけることができる。同時に体を意識し、体幹を作る。
6回目	ステップにリズムを1つ足し、応用のステップを習得することができる
7回目	ステップにリズムを2つ足し、応用の振付を作ることができるようになる
8回目	体幹トレーニングで軸を作り、ターンなどの軸を使った応用の振りを習得することができる
9回目	ターンなどの軸を使った応用の振りを作ることができるようになる
10回目	1つのステップのレパートリーを増やしていくことができる
11回目	ステップのリズムを応用しレパートリーを増やしていくことができるようになる
12回目	HOUSEのステップ、フロアを使って、体幹・筋力を身につけることができる
13回目	今まで習得したステップやフロアを使って即興にて身体を動かすことができるようになる
14回目	今まで習得したステップやフロアを使って組み合わせ、振付ができるようになる
15回目	自作した振付を発表し、個々の違いを見て後期への意識を高めることができる
準備学習時間外学習	授業でやった事を次回までにしっかり練習してくる
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 課題成果（30%） 3. 実地試験（20%）
受講生へのメッセージ	1つ1つの動きに意味があるので、自分には必要ないと決めつけず、すべての動きを意識して活かせるように頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	HOUSE（HOUSE）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	早川 昌貴
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	火曜日6限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
技術、精神面はもちろん、表現力、考える力を身につけることができる。
※HOUSEを軸にHIPHOP、TAP、Be Bopなどさまざまなジャンルをしている。
三重・愛知・大阪などで活動し、アーティストのバックダンサーやPV出演、コンテストへの出場、クラブイベントや舞台、振付など、ジャンル問わず幅広く活動している。

【到達目標】
全てのジャンルに活かせるリズム、グルーヴ、体幹を身につけるだけでなく、技術、伝え方、感じ方を身に付けることができる。

授業計画・内容	
1回目	前期で学習した内容の理解度を確認する為テストを実施
2回目	1年半学んだフロアで振付をし、スキルと理解度を確認することができる
3回目	1年半学んだフロアで振付をし、スキルと理解度を確認することができる
4回目	難易度の高いフロアのスキルを習得することができる
5回目	難易度の高いフロアのスキルを取り入れ1年半学んだステップでストーキングを実施
6回目	ストーキングにて自分の強みや弱みを知り課題を見つけることができる
7回目	すべての動きにグルーヴ、感情を入れて表現することを身につける
8回目	しっかり音を感じてグルーヴを出し表現することを身につける
9回目	今まで覚えた動きを自由に組み合わせ振付をすることができるようになる
10回目	今まで覚えた動きを自由に組み合わせ振付をすることができるようになる
11回目	グループに分かれ動きを組み合わせた振付に構成をつけることができるようになる
12回目	組み合わせた振付を皆で共有し説明することができる
13回目	すべてにおいて軸、表現、グルーヴを意識して踊り、表現の幅を広げることを身につけることができる
14回目	今まで学んだ事を再確認、意識して踊り、個々に自作した振付を発表する
15回目	2年間を振り返り、思いをしっかり踊りで表現することを課題にテストを実施する
準備学習時間外学習	授業でやった事を次回までにしっかり練習してくる
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 課題成果（30%） 3. 実地試験（20%）
受講生へのメッセージ	1つ1つの動きに意味があるので、自分には必要ないと決めつけず、すべての動きを意識して活かせるように頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	スタッフワーク（Staff Work）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	斎須 敏治
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	火曜日2限

【授業の学習内容】
アーティストを売り出すための、マーケティング、プロモーションについて学ぶ。
※芸能プロダクションを経て、現在フリーランスとしてプロダクションの制作実務を行う。

【到達目標】
プロモーションプランを組み立て、実際にイベントを行えるスキルを身につける。

授業計画・内容	
1回目	アンケート実施。生徒の好きな音楽、普段の音楽に関する市場調査実施。
2回目	各自、題材を決め　アーティストをプレゼンテーションする
3回目	各自、題材を決め　アーティストをプレゼンテーションする
4回目	レコード会社のプロモーター基本編　アーティスト資料について学ぶ
5回目	エイベックス創業者について学ぶ（映像視聴）
6回目	秋元康のAKBプロジェクを通じて、プロデュースについて学ぶ
7回目	アーティスト、販促イベント、タイムテーブルの書き方を学ぶ
8回目	アーティスト、販促イベント、タイムテーブルの書き方を学ぶ
9回目	考える力・考える癖を つける基本　自分の意見をもつことの重要性について学ぶ
10回目	考える力・考える癖を つける基本　自分の意見をもつことの重要性について学ぶ
11回目	市場調査　タワーレコード、ヴィレヴァン、HMVなどの店舗を調査する
12回目	市場調査　タワーレコード、ヴィレヴァン、HMVなどの店舗を調査する
13回目	音楽業界の著名人のインタビューを考察し、レポート提出
14回目	テスト
15回目	総括
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業態度（10%） レポート（10%） 実地試験（80%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	スタッフワーク（Staff Work）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	藤村典子
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	水曜　1限

【授業の学習内容】
マスメディアと宣伝、テレビ局と新聞社など音楽業界の関係性をはじめ番組制作に必要なイベント制作について学ぶ。また楽器についての知識を楽器セッティングを通じて習得する。※プロダクションである株式会社アミューズを経て、フリーランスとして名古屋を中心としたバンドマネジメント・制作を行う。

【到達目標】
番組制作に必要な各種イベント・コンサートの制作についての基礎知識を習得し、コンサート・ライブ・イベントを実施できるようにする。

授業計画・内容	
1回目	授業の説明。番組制作などに必要なイベント制作の基本的な概念を学ぶ。
2回目	イベンター（プロモーター）とアーティストマネージメントの関係。コンサートスタッフの仕事について学ぶ。
3回目	プロダクション・レコードメーカーでの業務について学ぶ。
4回目	野外フェスティバル（夏フェスetc）マネージャーとしてのかかわり方を学ぶ
5回目	楽器についての知識と必要性。用語、機材についての知識を習得
6回目	楽器についての知識と必要性。ドラムなどのセッティングを習得
7回目	ライブ制作の基礎を学ぶ。コンセプト、開催時期、予算組など
8回目	ライブ制作の基礎を学ぶ。コンセプト、開催時期、予算組など
9回目	現代のライブシーンを考察し、これからのライブ制作について学ぶ。
10回目	イベントの仕組みについて～企画から本番当日までの流れを学ぶ。
11回目	イベントの仕組みについて～企画から本番当日までの流れを学ぶ。
12回目	プロモーション～テレビ局、新聞社などマスメディアと宣伝について学ぶ
13回目	プロモーション～テレビ局、新聞社などマスメディアと宣伝について学ぶ
14回目	試験
15回目	総括
準備学習時間外学習	
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 課題提出（50%）
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	舞台機構（Stage Equipment）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	佐藤 聖也
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	講義演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	水・2限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する
イベントの企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための
予備知識（工具・部材の取り扱い、PCにおいてのアプロケーション知識、SNS知識・舞台基礎）を中心に実行。
ZeppライブエンターテイメントにてZeppNagoya運営アシスタントポジションにて全国Zepp系列の運営チーフにて在籍。
また芸能プロダクションにも勤め、現場マネジメントとしても活動。

【到達目標】
各知識習得後、イベントの実行・制作として行える引き出しを増やすきっかけにする。
また自分の特技とするものを作るきっかけにする。

授業計画・内容	
1回目	1限 コミュニケーションスキルアップ/文章構成・マーケティング（JFN学生ラジオCMコンテスト）①
2回目	文章構成・マーケティング（JFN学生ラジオCMコンテスト）②/ミュージカル制作について
3回目	尺貫法・舞台大道具について①/プロモーター会社運営について
4回目	ドラムの組み方/電源知識①/チラシコーディネート
5回目	道具の種類・使い方について
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識①/カラーコーディネート知識
7回目	音源データ作成知識（Garageband etc）①
8回目	台本の読み取り方・メモの取り方・活用方法
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について①（Twitter・Youtubeなど）
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について②補足：データフォーマットに関して
11回目	機材端子/電源について②
12回目	楽器基礎知識について/電源について②
13回目	舞台制作①/道具についておさらい
14回目	舞台制作②/道具についておさらい
15回目	照明予備知識について①
準備学習時間外学習	常に身の回りにあるライフやデザインの構図や構成を考える癖をつけ、授業時の発想に活かすことができるようにする。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（20%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（70%） 5. 実地試験（10%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	答えが1つとする用語があれば、答えが複数という発想に繋がるものがあります。たくさんの引き出しを身につけ、臨機応変に対応できる人材を目指してください。

【使用教科書・教材・参考書】
ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	舞台機構（Stage Equipment）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	佐藤 聖也
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	講義演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	水・2限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する
イベントの企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための
予備知識（工具・部材の取り扱い、PCにおいてのアプロケーション知識、SNS知識・舞台基礎）を中心に実行。

【到達目標】
各知識習得後、イベントの実行・制作として行える引き出しを増やすきっかけにする。
また自分の特技とするものを作るきっかけにする。

授業計画・内容	
1回目	タイムスケジュール・進行表作成①
2回目	タイムスケジュール・進行表作成②
3回目	尺貫法・舞台大道具について②
4回目	HP制作技術講座①
5回目	HP制作技術講座②
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識②
7回目	音源データ作成知識（Garageband etc）③
8回目	音源データ作成知識（Garageband etc）④
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について③（Twitter・Youtubeなど）
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について④補足：データフォーマットに関して復習
11回目	大道具舞台組み実習①
12回目	大道具舞台組み実習②
13回目	野外設営知識①
14回目	野外設営知識②
15回目	照明予備知識について②
準備学習時間外学習	課題提出あり
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（20%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（70%） 5. 実地試験（10%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	PAテクニック（PA Technic）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	山口　健太
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	月曜日1,2限

【授業の学習内容】
演習を通し、PAとして必要な知識、機材名、用語を習得する。 マイクに音が入ってスピーカーから音が出るまでの信号の流れを基本から仕込み、音出し、チェックまでを反復して習得する。 実習の際毎回違う機材を使用して学校内機材の使用方法、機材名を把握する。
※デルタ音響株式会社を経て、現株式会社アズオン（音響会社）にて約10年間、オペレーターとして従事する。

【到達目標】
①学校内機材の使用方法、機材名を把握する。 ②PA基本セット(スタンドスピーカー、16chアナログミキサー、GEQ、CDプレイヤー、マイク数本)を仕込み、音出し、チェックまでを全員ができるようになる。 ③ケーブルを早く巻けるようになる。

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、演習に必要な道具の説明、学校機材の説明
2回目	ケーブルの巻き方、スタンドの立て方、マイクの付け方を覚える
3回目	安全管理(機材の運び方、皮手の必要性)の説明、機材の型番を覚える
4回目	スタンドスピーカー、アナログミキサー、マイク1本の基本セットの仕込み、音出しを説明、演習で行う
5回目	スタンドスピーカー、アナログミキサー、マイク1本の基本セットの仕込みを復習
6回目	基本セットの仕込みにCDプレイヤー、GEQを入れての演習を行う
7回目	コネクターの種類、ケーブルの種類の説明を行う
8回目	電気知識、テスターの使用方法を演習で行う
9回目	マイクの音の違いを聴き比べ理解する
10回目	スピーカーの音の違いを聞き比べ理解する
11回目	ミキサーの機能を説明する(Aux、EQ、Group、Soloなど)
12回目	試験(簡易セットの仕込み、チェック)
13回目	Alphaの組み方、音の出し方を覚える
14回目	NX242などを使用し、プロセッサーについて説明をする
15回目	前期授業内容の復習
準備学習時間外学習	
評価方法	①試験40% ②授業態度、取組姿勢30% ③出席率30%
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	PAテクニック（PA Technic）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	山口　健太
学科	ｽｰﾊﾟｰeｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ科	授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	月曜日1,2限

【授業の学習内容】
演習を通し、PAとして必要な知識、機材名、用語を習得する。 マイクに音が入ってスピーカーから音が出るまでの信号の流れを基本から仕込み、音出し、チェックまでを反復して習得する。 実習の際毎回違う機材を使用して学校内機材の使用方法、機材名を把握する。
※デルタ音響株式会社を経て、現株式会社アズオン（音響会社）にて約10年間、オペレーターとして従事する。

【到達目標】
①学校内機材の使用方法、機材名を把握する。 ②PA基本セット(スタンドスピーカー、16chアナログミキサー、GEQ、CDプレイヤー、マイク数本)を仕込み、音出し、チェックまでを全員ができるようになる。 ③ケーブルを早く巻けるようになる。

授業計画・内容	
1回目	イベント演習(ミュージカル)の反省、改善
2回目	ダイナミックマイク、コンデンサーマイク、DIについて説明する
3回目	モニタースピーカーについて説明し、演習を行う
4回目	メインスピーカー、モニタースピーカーを合わせて仕込み、レベルの取り方やチェックの仕方を演習で行う
5回目	ミキサー周り、アンプ周りの電源の取り方について説明する
6回目	回線表の見方、プランの立て方について説明する
7回目	CDプレイヤーの基本操作、現場にあったオペレートしやすい操作を説明する
8回目	スピーカーケーブル、NL4、NL8の配線、考え方を説明する
9回目	エフェクターの接続、使用方法を演習で行う
10回目	Comp、Gateなどインサート接続を説明し演習で行う
11回目	カラオケ音源でのオペレート演習
12回目	試験(モニタースピーカー、エフェクター、インサート接続など使用)
13回目	回線表、音響プランを制作
14回目	楽器知識を学ぶ、実際に楽器をセッティングして演習を行う
15回目	後期授業内容の復習
準備学習時間外学習	
評価方法	①実技試験40% ②授業態度、取組姿勢30% ③出席率30%
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】